

明和町立第1期再編小学校等建設

基本構想

令和3年10月

明和町町立小学校等建設検討委員会

目 次

1	目的・背景	
	(1) 目的	2ページ
	(2) 背景	4ページ
2	基本条件	
	(1) 明和町の人口推計	5ページ
	(2) 児童数の推移	6ページ
	① 小学校の児童数の推移	
	② 放課後児童クラブの利用者数の推移	
	③ 就学前施設の児童数及び将来の想定定員	
	(3) 敷地条件	9ページ
	① 敷地概要	
	② 敷地条件	
	(4) 事業スケジュール	11ページ
	① 整備施設の供用開始時期	
	② 整備施設の完成時期	
3	施設の基本理念等	
	(1) 施設の基本理念	13ページ
	(2) 施設整備のコンセプト	14ページ
	(3) 施設の概要・整備計画方針	15ページ
	① 整備する施設の概要	
	② 小学校区の再編に伴う配慮事項	
	③ 施設全体の配置にかかる配慮・検討事項	
	④ 想定諸室・スペース等一覧	
	⑤ 主要諸室・スペース等の配慮・検討事項	
	(4) 建物及びグラウンドの配置イメージ図	25ページ
	(5) 施設の運営・維持管理計画	26ページ
	① 運営計画	
	② 維持管理計画	
	(6) その他留意事項	27ページ
4	参考資料	28ページ

1 目的・背景

(1) 目的

明和町は、令和3年6月に策定した「明和町小学校区編制にかかる基本計画」（以下「基本計画」という。）に基づき町内の小学校区の再編を行い、それに伴う各種整備を行うこととしています。

基本計画では、まず当町の北部に位置する大淀小学校、上御糸小学校及び下御糸小学校の3小学校を統合し、加えて斎宮小学校区の一部である北野、クィーンヒルズ、東野及び平尾の4地区を校区とする新しい小学校（明和町立第1期再編小学校（仮称）、以下「新小学校」という。）、及び新小学校に付随する放課後児童クラブ、さらにささふえ保育所の移転園となる認定こども園（以下「明和町立第1期再編小学校等」という。）について令和8年4月の供用開始に向けた整備を行います（図1-1参照）。

その後、約20年後には、当町の南部に位置する斎宮小学校と明星小学校を統合した新しい小学校（明和町立第2期再編小学校（仮称））の建設を検討することとしています（図1-2参照）。また、現在複式学級を有する修正小学校については、明星小学校又は斎宮小学校へ統合する方向で保護者等と協議を進めています。

本基本構想は、令和8年4月の供用開始を目指す明和町立第1期再編小学校等を整備するにあたり、その理念や施設整備のコンセプト、必要な諸室やスペースといった施設整備に関わる基本的な考え方、方向性等を示すものです。

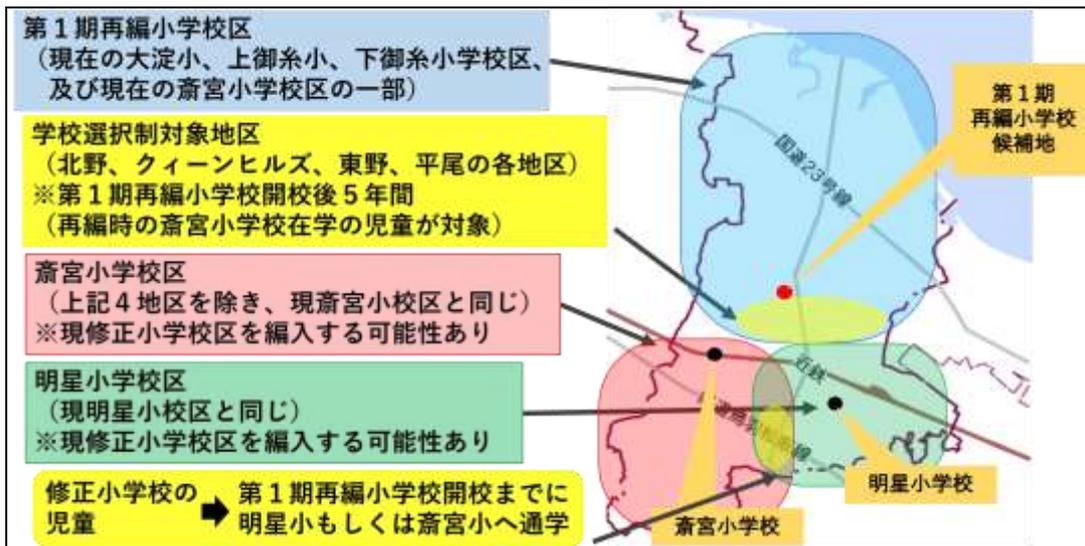


図 1-1 第1期再編後の小学校区のイメージ図（令和8年度～令和20年頃を想定）

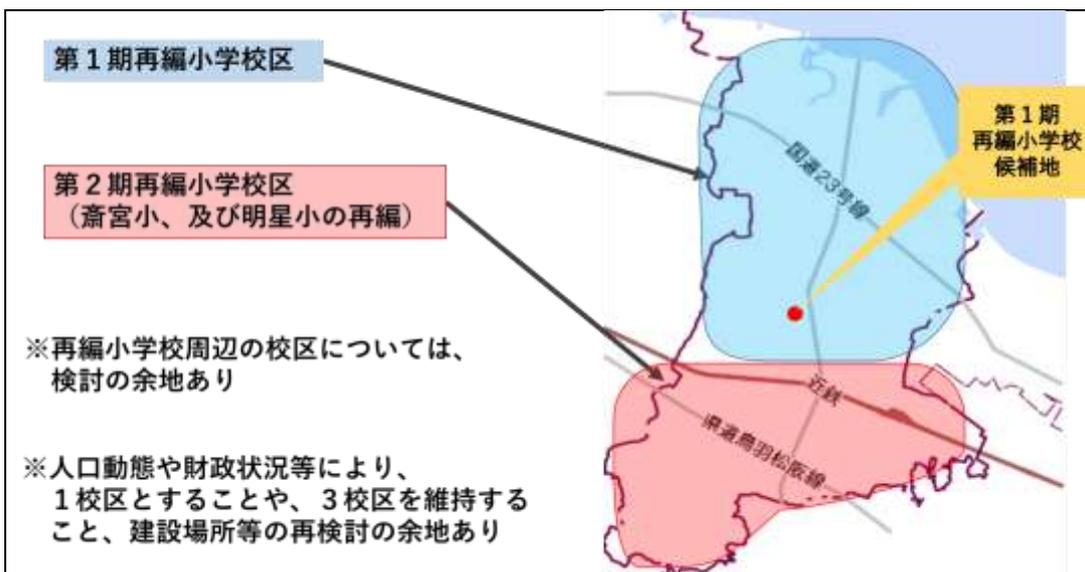


図 1-2 第2期再編後の小学校区のイメージ図（令和20年度頃～を想定）

(2) 背景

現在、少子高齢化の進行のみならず、「Society5.0 時代[※]」として、産業構造や社会システムなど社会の在り方そのものが大きく変化しつつあります。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、感染症流行の終息後の「ポストコロナ」を見据えた「新しい生活様式（ニューノーマル）」への移行も求められています。

教育の分野においては、子どもたち一人ひとりを大切に、また、お互いを尊重し、協働しながら問題を解決していく資質・能力を育成することが学校教育の大きな課題になっている中、「令和の日本型学校教育[※]」の構築に向けて、新学習指導要領、GIGA スクール構想、少人数学級の実現といった「新しい時代の学び」に向けた取組が進められています。

加えて、全国の小学校は地震等の災害時に避難所となる重要な役割を担っており、平成23年（2011年）3月に発生した東日本大震災を機にその重要性が改めて認識されるなど、津波対策、耐震化等の防災機能の更なる強化が必要となっています。また、第2次ベビーブームを伴い1970年代頃を中心に建設された多くの小学校、保育所等の老朽化対策が課題となっている一方、少子化を見据えた小学校の整備が求められています。

さらに、子ども・子育て関連3法[※]に基づき実施されている、就学前の児童に教育・保育を提供する「幼稚園、保育所、認定こども園」、及び小学校に就学している児童に対し放課後における安全・安心な居場所を提供する「放課後児童クラブ」の両事業は、近年の女性就業率の上昇等によって共働き家庭の児童数の増加が更に見込まれることから、待機児童を解消するとともに、「小1の壁[※]」を打破するため、より一層の充実が求められています。

そうした中、当町の小学校、保育所等においても、将来発災する可能性の高い南海トラフ地震の津波対策をはじめとする防災対策、施設の老朽化対策が重要課題であり、人口減少に伴う少子化にも対応した小学校統合を行うこととなりました。また、令和2年3月に策定した「第2期明和町子ども・子育て支援事業計画」に基づき実施している「幼稚園、保育所、認定こども園」及び「放課後児童クラブ」の両事業については、当町でも共働き家庭の児童数の更なる増加が見込まれることから、より一層の充実を図っていくこととしています。

これらの事業について、当町としては、厳しい財政状況（詳細は「明和町小学校区編制にかかる基本計画（令和3年6月策定）」を参照）の中、経済性を考慮し、効率的かつ効果的に進めていく必要があります。

※Society5.0 時代 … 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、情報社会のその先の社会を指した概念のこと。

※令和の日本型学校教育 … 「子どもたちの多様化」「情報化対応の遅れ」「教師の長時間労働」など学校教育の直面する課題を解決するため、知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」を受け継ぎ、新しい時代の学校教育の実現を目指す教育のこと。

※子ども・子育て関連3法 … 「子ども・子育て支援」、「認定こども園法の一部改正法」、「子ども・子育て支援法及び認定こども園法の一部改正法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」

※小1の壁 … 共働き家庭や一人親家庭において、子どもが保育園から小学校に入学した際に親の退社時間まで子どもを預けることができず、仕事と子育ての両立が困難になること。

2 基本条件

(1) 明和町の人口推計

当町が策定した「明和町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン 令和3年度改訂版（令和3年3月策定）」によると、人口減少対策により合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準）である2.1まで上昇し、かつ人口移動が均衡した（転入・転出数が同数となり、移動がゼロ）場合、令和47年の当町における総人口は令和2年と比べて約8割、年少人口（0～14歳）は同年比で微増程度となることが見込まれています（表2-1参照）。

表2-1 明和町における年齢3区分別人口推計
（人口減少対策を実施した場合）

年齢層	令和2年度	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年	令和37年	令和42年	令和47年
年少人口	2,852	2,786	2,955	3,018	3,047	3,028	3,013	2,972	2,914	2,902
生産年齢人口	12,393	11,934	11,413	10,943	10,198	9,899	9,729	9,751	9,951	9,859
老年人口	6,808	6,845	6,773	6,690	6,861	6,701	6,430	5,995	5,403	5,077
総数	22,054	21,565	21,140	20,651	20,106	19,628	19,172	18,718	18,269	17,838

※「明和町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン 令和3年改訂版（令和3年3月策定）」より抜粋
※年少人口は0～14歳、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上を表す

(2) 児童数の推移

① 小学校の児童数の推移

平成29年度からの3年毎の各年4月1日時点における、明和町内の既存小学校の児童数及び将来推計と、それに基づく新小学校の開校時における児童数の推計は表2-2のとおりです。大淀小学校と下御糸小学校で児童数が減少傾向にあるほか、学校毎の児童数の差が大きい状況が続くことが分かります。また、表2-3は令和8年度の学年別児童・標準学級数を再編の有無で比較したものです。

表2-2 明和町内の小学校別児童数及び将来推計

学校名	平成29年度		令和2年度		令和5年度 (見込)		令和8年度 (見込)		【再編後】令和8年度 (見込)		
	児童数	標準学級数	児童数	標準学級数	児童数	標準学級数	児童数	標準学級数	学校名	児童数	標準学級数
大淀小学校	121	6	107	6	97	6	92	6	新小学校	686	22
上御糸小学校	269	12	242	10	249	11	270	12			
下御糸小学校	115	6	113	6	106	6	103	6			
斎宮小学校	404	13	434	13	457	16	475	18			
明星小学校	260	10	243	10	234	10	227	10	明星小学校	227	10
修正小学校	58	6	47	5	54	5	58	5	(修正小学校)	(58)	(5)
合計	1,227	53	1,186	50	1,197	54	1,225	57	合計	1,225	48

※令和5年度及び令和8年度に関しては、令和3年10月1日時点の住民基本台帳を基に算定

※標準学級数：1学級あたりの児童数を、令和2年度までは40人(小学1年生のみ35人)、令和3年度以降は5年間かけて全学年を35人学級へ移行すると想定し算定

※斎宮小学校より編入される地域については、新小学校の開校後5年間は校区再編に伴う移行期間として学校選択制(詳細は「明和町小学校区編制にかかる基本計画(令和3年6月策定)」を参照)を導入します。表中の新小学校の想定児童数は、斎宮小学校からの編入地域の児童全員が新小学校へ通った場合の想定最大児童数を示しています。

※修正小学校の児童については、新小学校の開校時期に関わらず、早急に斎宮小学校または明星小学校へ通学していただく予定であり、現時点で通学先は決まっていません(修正小学校の再編方針については、「明和町小学校区編制にかかる基本計画(令和3年6月策定)」を参照)。

表2-3 再編対象小学校(地区)及び新小学校想定児童数・標準学級数
(令和8年4月1日時点)

学校名		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
再編しない場合	大淀小学校	13人	19人	14人	15人	10人	21人	92人
		1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	6クラス
	上御糸小学校	45人	47人	47人	54人	39人	38人	270人
		2クラス	2クラス	2クラス	2クラス	2クラス	2クラス	12クラス
	下御糸小学校	12人	19人	18人	17人	24人	13人	103人
	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	1クラス	6クラス	
再編	斎宮小学校より編入の4地区	32人	31人	45人	43人	39人	31人	221人
		—	—	—	—	—	—	—
再編	新小学校	102人	116人	124人	129人	112人	103人	686人
		3クラス	4クラス	4クラス	4クラス	4クラス	3クラス	22クラス

※各小学校項目中の上段は児童数、下段は標準学級数(1学級あたり35人として算定)を表す

② 放課後児童クラブの利用者数の推移

各年4月1日時点における、明和町内の既存の放課後児童クラブの利用者数及び各小学校の児童数に対する各放課後児童クラブの利用者の割合と、それに基づく新放課後児童クラブの開所時における利用者数及び利用者割合の推計は表2-4のとおりです。全体の利用者は増加傾向にあります。

表2-4 明和町内の放課後児童クラブ別利用者数及び将来推計
(カッコ内：各小学校の児童数に対する各放課後児童クラブの利用者割合)

児童クラブ名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	【再編後】令和8年度(見込)	
						児童クラブ名	利用者推計
大淀	28 (23.14%)	26 (24.30%)	32 (29.36%)	29 (27.10%)	28 (25.69%)	新放課後 児童クラブ	224 (32.65%)
上御糸	71 (26.39%)	62 (23.75%)	62 (24.03%)	78 (32.23%)	65 (27.66%)		
下御糸	14 (12.17%)	16 (13.22%)	15 (12.50%)	21 (18.58%)	19 (17.76%)		
斎宮	97 (24.01%)	103 (24.76%)	118 (27.83%)	122 (28.11%)	114 (25.56%)	斎宮	38 (14.96%)
明星	39 (15.00%)	45 (17.18%)	58 (21.89%)	67 (27.57%)	66 (26.19%)	明星	130 (57.27%)
修正	6 (10.34%)	8 (14.55%)	4 (7.69%)	4 (8.51%)	7 (13.73%)	(修正)	14 (24.14%)
合計	255 (20.78%)	260 (21.28%)	289 (23.53%)	321 (27.07%)	299 (24.92%)	合計	406 (33.14%)

※令和8年度の推計は、直近5年間の利用児童数の伸び率のまま利用者が増加すると想定し算定

※斎宮小学校区から編入される4地区の児童全員が新小学校へ通った場合を想定

※修正小学校の児童については、新小学校の開校時期に関わらず、早急に斎宮小学校または明星小学校へ通学していただく予定であり、現時点で通学先は決まっていません(修正小学校の再編方針については、「明和町小学校区編制にかかる基本計画(令和3年6月策定)」を参照)。

③ 就学前施設の児童数及び将来の想定定員

各年3月1日時点における、明和町内の既存就学前施設の児童数（令和3年度は入所予定を含む児童数）と、転入・転出実績を反映させた未就学児の人口推計を基に想定した令和8年度における各就学前施設の定員は表2-5のとおりです。就学前施設の在籍児童数は増加傾向にあり、中でも保育所及び認定こども園のニーズが高くなっていることがわかります。

表2-5 明和町内の就学前施設別児童数及び将来の想定定員
(カッコ内：定員)

就学前施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (入所予定含)	令和8年度 (見込)
旭ヶ丘幼稚園	39 (120)	31 (120)				
双葉幼稚園	30 (90)	20 (90)				
斎宮幼稚園	53 (120)	61 (120)	67 (120)	70 (120)	55 (120)	
なりひら保育所	76 (120)	85 (120)				
みどり保育所	114 (150)	126 (150)	145 (150)	157 (150)	156 (150)	(150)
ささふえ保育所	129 (150)	129 (150)	137 (150)	144 (150)	141 (150)	(150)
みょうじょうこども園 (認定こども園)	215 (150)	212 (180)	233 (180)	241 (180)	238 (180)	(210)
明和ゆたか園 (認定こども園)	143 (160)	153 (160)	149 (160)	158 (160)	160 (160)	(160)
第2明和ゆたか園 (認定こども園)			129 (150)	147 (150)	148 (150)	(150)
斎宮 Babyroom (小規模保育事業所)	15 (19)	16 (19)	14 (19)	19 (19)	19 (19)	(150)
合 計	814 (1,079)	833 (1,109)	874 (929)	936 (929)	917 (929)	(970)

※ささふえ保育所は、本事業により令和8年度より認定こども園へ移行予定

※みどり保育所は、令和4年度より認定こども園へ移行予定

※斎宮 Babyroom は、令和4年度もしくは令和5年度（法整備により異なります）より定員150人程度の認定こども園へ移行予定

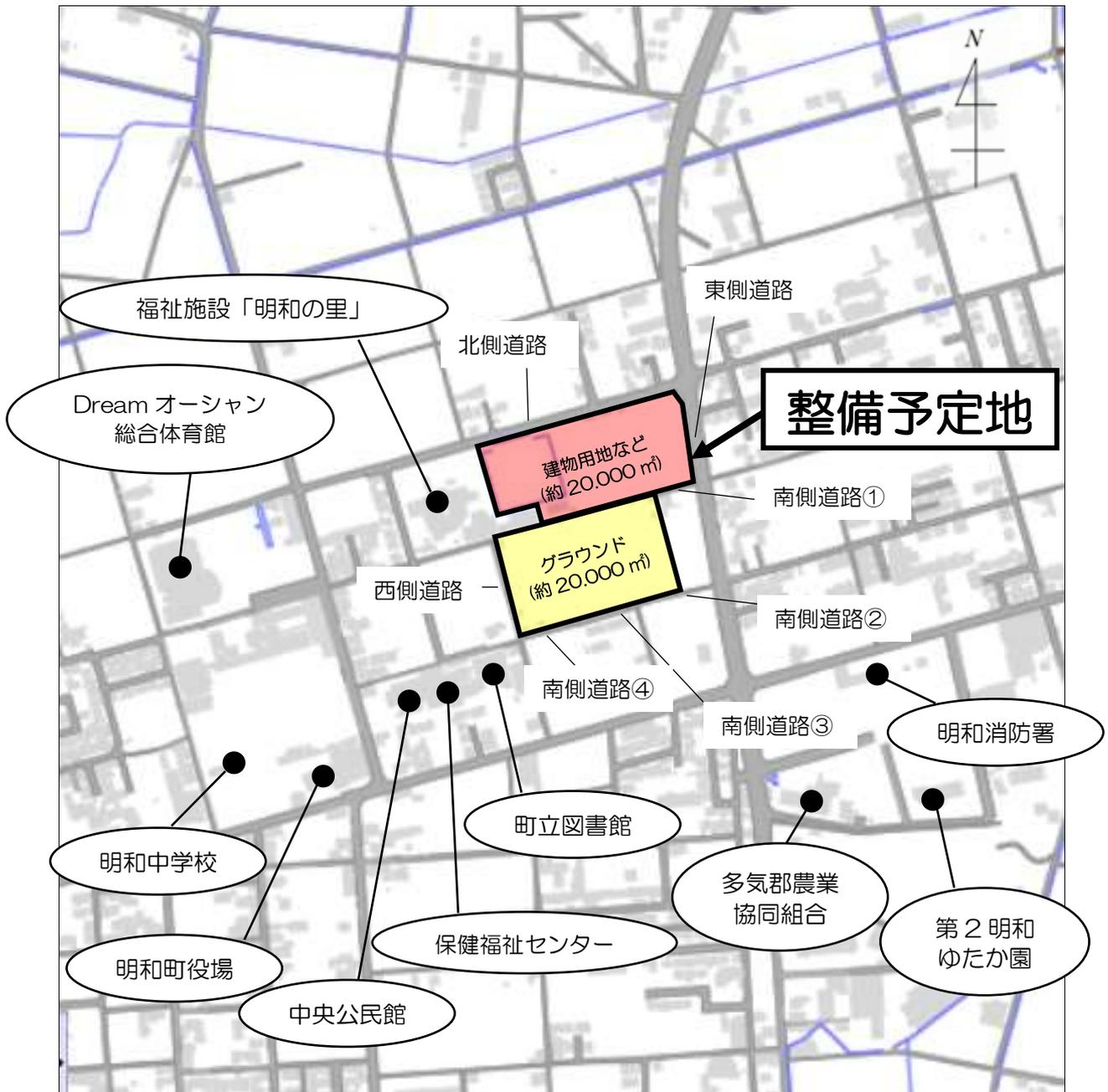
※斎宮幼稚園は、令和6年度より閉園予定

(3) 敷地条件

① 敷地概要

明和町立第1期再編小学校等の整備予定地は、町の所有地である「明和中学校第2グラウンド」とします。

整備予定地は、明和町役場や町総合体育館、明和中学校等の公共施設が立地する町の中心部に位置しています。また、都市計画法第9条第14項に基づく特定用途制限地域の居住環境地区及び幹線沿道地区であり、良好な住宅地の形成や地域住民の日常生活の利便性を支える土地利用を図る地域となっています。



※地図ベースは平成 29 年度版

※吹き出し表示は周辺の公共施設を表す

図 2-1 整備予定地位置図

② 敷地条件

整備予定地の敷地条件、接道状況等の条件は表 2-6のとおりです。

表 2-6 敷地条件等

項目	内 容		
所在地番	三重県多気郡明和町大字馬之上字奥野頭 890 番 6 他 13 筆 三重県多気郡明和町大字馬之上字香良須池 902 番 1 他 48 筆 ^{※注1}		
敷地面積	建物用地等（グラウンド以外） ^{※注2}	約 20,000m ²	
	グラウンド（法面部分含む）	約 20,000m ²	
	合 計 ^{※注3}	約 40,000m ²	
接道状況	道路	認定道路の幅員	建築基準法の道路種別
	北側道路	5.5m ^{※注4}	第 42 条第 1 項第 1 号道路
	東側道路	16.0m	第 42 条第 1 項第 1 号道路
	南側道路①	2.2m	非道路
	南側道路②	5.5m	第 42 条第 1 項第 1 号道路
	南側道路③	1.9m	第 42 条第 1 項第 1 号道路
	南側道路④	2.4m	第 42 条第 1 項第 1 号道路
	西側道路	2.6m	非道路
用途地域	指定なし ※明和町特定用途制限地域の居住環境地区 (幹線沿道地区にもかかっているが、面積の過半数を占める 居住環境地区が適用される)		
防火地域	防火地域・準防火地域指定なし・建築基準法第 22 条区域内		
容積率	200%		
建蔽率	60%		
高度地区	指定なし		
隣地斜線制限	20m+勾配 1.25		
道路斜線制限	勾配 1.5		
日影規制	制限を受ける建築物 ⇒ 高さが 10m 以上の建築物が対象 測定水平面 ⇒ 4m 日影時間 敷地境界線からの水平距離が 10m 以内 ⇒ 4 時間 敷地境界線からの水平距離が 10m 超 ⇒ 2.5 時間		

※注 1 一部の筆は福祉施設「明和の里」の敷地となっています。今後測量を実施し、敷地面積とともに境界を確定予定です。

※注 2 現在、整備予定地が調整池となっています。今後、土地利用計画が定まった時点で、改めての流量計算を行った上で、必要な対策を講じていきます。

※注 3 ※注 1 及び※注 2 により、合計面積が変動する可能性があります。

※注 4 都市計画法 29 条に基づく開発行為に該当する場合は、道路幅員を 9m とする必要がある、それに伴い敷地面積が変動します。具体的な整備方法は今後、検討します。

(4) 事業スケジュール

明和町立第1期再編小学校等整備事業（仮称）として新小学校、認定こども園及び放課後児童クラブを一体的に整備することとします。施設整備の事業方式としては、従来方式^{*}の他、PFI方式^{*}やDBM方式^{*}、DB方式^{*}といった民間活力導入手法についても検討します。民間活力導入手法については、令和3年度中に導入可能性調査を実施し、本基本構想に基づいたサウンディング調査結果により、事業方式を確定させるものとします。

事業方式により事業スケジュールが異なりますが、いずれの事業方式にせよ整備施設の供用開始時期及び完成時期については、次のとおりとします。

- ※従来方式 … 設計・建設・維持管理の各業務を民間事業者に対して個別に発注する方式
- ※PFI方式 … 設計・建設・維持管理を民間事業者に対して一括して発注し、施設整備に係る資金調達についても民間企業が金融機関から行う方式
- ※DBM方式 … 設計・建設・維持管理を民間事業者に対して一括して発注する方式
- ※DB方式 … 設計・建設を民間事業者に対して一括して発注する方式

① 整備施設の供用開始時期

本事業で整備する新小学校、認定こども園及び放課後児童クラブの全てを、令和8年4月に供用開始する予定です。

② 整備施設の完成時期

施設の供用開始までに引越し等の事前準備が必要なため、新小学校、認定こども園及び放課後児童クラブの全てを、令和7年夏頃を目途に完成する予定です。

新小学校等の開校に向けた、各事業方式で実施する場合の事業スケジュール（案）は表2-7のとおりです。

表2-7 各事業方式で実施する場合の事業スケジュール（案）

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
本基本構想策定	■				
PFI 導入可能性調査		※当調査結果により事業方式を決定します			
実施方針等公表		■			
従来方式	設計業者選定	■			
	設計		■		
	建設業者選定			■	
PFI方式	事業者選定	■			
	SPC設立等		■		
	設計			■	
DBM方式	事業者選定	■			
	契約手続等		■		
	設計			■	
DB方式	事業者選定	■			
	契約手続等		■		
	設計			■	
建設工事				■	
開校・開園準備					■

※どの事業方式で実施する場合も、設計期間中にワークショップ開催等を通して、町民の意向を施設整備に反映することについて配慮します。

なお、今後は運営準備委員会（仮称）と跡地利用検討委員会（仮称）を令和3年度下半期に立ち上げ、明和町立第1期再編小学校等の教育内容等運営面や、学校として使用しなくなる施設の跡地の利活用に関して協議検討していく予定です。

3 施設の基本理念等

(1) 施設の基本理念

本基本構想は、「1 目的・背景（1）目的」に示すとおり、新小学校、認定こども園及び放課後児童クラブの施設整備に関わるものであり、「第6次明和町総合計画（令和3年3月策定）」、「明和町教育行政大綱（平成31年3月策定）」及び「明和町小学校区編制にかかる基本計画（令和3年6月策定）」を踏まえて、同施設の基本理念を次のとおり定めます。

地域とともに 未来の可能性を広げる 新しい時代の「学び舎」

※ここでの「学び舎」の表現は、本基本構想に示す施設が、小学校だけではなく、放課後児童クラブ（学童）及び認定こども園も含むものであり、また、その利用者についても、0歳から12歳までの子どもたちだけでなく、地域の中学生から大人たちまでをも想定していることにおいて、老若男女全ての町民の「学ぶ場」となってほしいという想いを込めて用いています。

「地域とともに」には、教職員や子どもたちのみならず、家庭や企業などを含む、地域の人たちと連携・協働し、安全で安心な学び舎をつくるという想いと、子どもたちには、自分一人だけではなく、周りの支えがあって育つ（成長する）ことへの感謝の気持ちを常に持ってほしいという想いを込めています。

「未来の可能性を広げる」には、本事業で整備する「学び舎」では小学校卒業がひとつのゴールとなりますが、長い人生から見れば小学校卒業はあくまで「通過点」であって、本当のゴールは社会に出て、さらにその先の人生にあるべきとの考えのもと、子どもたちに対しては、「学び舎」での小学生や園児、中学生、地域の人たち等との「多種多様な交流」から、今まで見えていなかったものを発見（視野が広がる）し、将来めざしたいもの（未来）を見つけ、そして、自身の可能性を広げてほしいという想いを込めています。

また、地域の人たちに対しては、働きながら、もしくは退職後に、ボランティア活動や生涯学習、交流の場として、「学び舎」や地域社会に貢献する活動へ参加してほしい、加えて、「新たな交流・活動」が「新たな学び舎」で生まれることによって「新たな地域コミュニティ」につながってほしいという想いを込めています。

「新しい時代の」には、「Society5.0 時代」の到来や「新しい生活様式（ニューノーマル）」への移行が求められている今日の社会状況の中、また、「令和の日本型教育」の構築に向けて、新しい時代の学びに向けた取組が進められている社会状況の中、当町でも町史上初となる「小学校区再編」を行うことは、当町にとっても新しい時代の到来であるとの想いを込めています。

(2) 施設整備のコンセプト

基本理念に基づき、施設整備の4つのコンセプトを定めます。

多様な学びができる柔軟で創造的な「学び舎」づくり

- 個別最適な学びと協働的な学びに対応したワクワク学べる「学び舎」づくり
- 「1人1台端末環境」を最大限活用できる「学び舎」づくり
- 幼保小中の学びをつなぐ「学び舎」づくり
- 教職員のパフォーマンスを最大化する「学び舎」づくり
- 「施設全体が生きた教材」にもなる「学び舎」づくり

安全で安心な「学び舎」づくり

- 耐震安全性や防犯対策等を含めた施設全体が安全な「学び舎」づくり
- 避難所としての防災機能を備えた「学び舎」づくり
- 「防災学習の生きた教材」にもなる「学び舎」づくり
- 地域全体で子どもたちの安全・安心を見守る「学び舎」づくり
- 全ての利用者の安全を確保し、安心できる生活の場ともなる「学び舎」づくり

連携・協働し、ともに創造する「学び舎」づくり

- コミュニティスクール[※]や地域学校協働活動を推進し、地域が学校運営に参画する「学び舎」づくり
- 地域の人たちから地域の文化・伝統を学ぶ「外との学び」等の「多様な学習環境」を創出する「キャリア教育の生きた教材」となる「学び舎」づくり
- 多様な人の知が集まり「新しい出会いから新しい価値」を創出する「学び舎」づくり
- 地域コミュニティの強化につながる地域に開放された「学び舎」づくり

豊かな心・健やかな体を育む「学び舎」づくり

- 社会性・人間性を育むゆとりと潤いのある生活の場としても快適な「学び舎」づくり
- 愛着・誇り・感謝の気持ちを育む温かみと安らぎのある「学び舎」づくり
- どこでも楽しく体力づくりができる「学び舎」づくり
- 「新しい生活様式（ニューノーマル）」を踏まえた衛生的な「学び舎」づくり
- 「ユニバーサルデザイン学習の生きた教材」にもなる、ともに育つ「学び舎」づくり
- 脱炭素社会の実現に貢献する「環境学習の生きた教材」にもなる「学び舎」づくり

※コミュニティスクール … 対象となる学校に学校運営協議会を設置し、保護者や地域の方の声を学校運営に活かしていく仕組み

※ユニバーサルデザイン … 障がいの有無、年齢、性別、能力などの違いにかかわらず、多くの方が利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計（デザイン）のことであり、またそれを実現するためのプロセス（過程）

(3) 施設の概要・整備計画方針

① 整備する施設の概要

児童数の想定・将来推計を踏まえ、本事業で整備する施設の規模等は表 3-1 のとおりです。

表 3-1 本事業で整備する施設の規模等

施設		規模	建物上限面積	主な整備内容
ア	小学校	児童数 700 人程度	校舎（給食室含む） ：12,000 m ² 以下 体育館：1,500 m ² 以下	校舎（3階建以下）、 給食室（認定こども 園分含む）、体育館、 グラウンド、駐車場
イ	放課後児童 クラブ	利用者数 280 人程 度（児童数の約 40%）	児童クラブ施設 ：1,100 m ² 以下 ※小学校の校舎に併設 を想定	保育室、駐車場
ウ	認定こども園	園児数 150 人程度	園舎：1,600 m ² 以下	園舎（平屋建）、園庭 （1,000 m ² 程度）、 駐車場

※プール施設は、閉校した学校のプール又は民間施設のプールを活用することとし、整備対象外とします。

② 小学校区の再編に伴う配慮事項

多くの児童の通学距離が遠くなることからスクールバスの導入を行います。

バスのルートや停留所の場所、利用者の範囲といった具体的な事項は「運営準備委員会（仮称）」で検討します（詳細は「明和町小学校区編制にかかる基本計画（令和3年6月策定）」を参照）。

③ 施設全体の配置にかかる配慮・検討事項

- ・小学校、放課後児童クラブ及び認定こども園の建物配置計画及び動線計画は、各施設の独立性を保ちつつ児童の安全・安心や施設間の連携・交流、教職員の働きやすさに配慮します。
- ・歩行者、自転車、車両の動線が錯綜しないよう配慮します。
- ・スクールバスの乗降や児童の送迎が安全かつ円滑にできるよう、スクールバスの乗降用ロータリーや保護者等の送迎用駐車場を整備します。
- ・環境への配慮による省エネルギー化に努めるため、断熱化や日射遮蔽、設備機器の高効率化、太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を導入し、環境教育の場となるよう整備します。
- ・窓、ドア、扉といった建具などでは児童の安全に配慮するほか、風が強い地域であるため、風対策に配慮します。
- ・周辺の住宅地への騒音や飛砂等の影響の抑制に配慮します。

④ 想定諸室・スペース等一覧

各施設において想定する諸室やスペース等は次のとおりとします。なお、これらの諸室やスペースの種類と数は、あくまで想定であり、必要に応じて変更できるものとします。

ア 小学校

諸室・スペース名称等		数	備考
1	普通教室	27	24～27 室で検討
2	特別支援教室	10	可動壁により分割を検討
3	多目的室(オープンスペース)	6	3～6室で検討
4	理科室(準備室含む)	2	
5	音楽室(準備室含む)	2	基本的に1室は地域開放を検討
6	図工室(準備室含む)	2	
7	家庭科室(準備室含む)	2	基本的に1室は地域開放を検討
8	図書室(司書室含む)	1	
9	英語専用教室(準備室含む)	1	
10	保健室	1	
11	校長室	1	
12	職員室(印刷室、放送室、給湯コーナー含む)	1	
13	職員更衣休憩室	男女各1	
14	校務員室	1	
15	支援員室	1	
16	教材室	3	
17	教師コーナー	適宜	
18	会議室	1	可動壁により分割、地域開放を検討
19	相談室	5	
20	昇降口	適宜	
21	階段	適宜	
22	職員・来客用玄関	1	
23	職員・来客用トイレ	1	
24	エレベーター	1	
25	児童用トイレ	適宜	
26	手洗い場	適宜	
27	配膳室	適宜	
28	CS(コミュニティスクール)事務室	1	地域開放兼コミュニティスクール用事務室
29	地域交流スペース	1	地域開放を検討
30	地域開放用トイレ	1	地域開放を検討
31	メモリアルスペース	1	
整備施設・敷地名等		数	備考
32	給食室	1	「検収室、食品庫、仕分け室、下処理室、前室、調理室、配膳室、洗浄室、職員休憩室、職員トイレ、職員通用口」を最低限整備し、その他必要な諸室(スペース)を検討
33	体育館	1	「体育室、ステージ、放送室、器具庫、更衣室(男女)、トイレ(バリアフリートイレ含む)」を最低限整備し、その他必要な諸室(スペース)を検討、地域開放を検討
34	グラウンド	1	地域開放を検討

イ 放課後児童クラブ

諸室・スペース名称等		数	備考
1	保育室	適宜	4～7室で検討
2	静養スペース	適宜	
3	キッチンスペース	適宜	
4	手洗い場	適宜	
5	トイレ	1	
6	スタッフルーム	1	
7	玄関ホール	1	

ウ 認定こども園

諸室・スペース名称等		数	備考
1	保育室 0歳児	1	
2	調乳室	1	
3	沐浴室	1	
4	保育室 1歳児	1	
5	保育室 2歳児	1	可動壁により分割
6	保育室 3歳児	1	可動壁により分割
7	保育室 4歳児	1	可動壁により分割
8	保育室 5歳児	1	可動壁により分割
9	ランチルーム	1	
10	遊戯室	1	
11	午睡室	1	
12	多目的室	1	
13	職員室	1	
14	相談室	2	
15	医務室	1	
16	休憩室	1	
17	更衣室	2	
18	職員トイレ	2	
19	園児用トイレ	4	
20	手洗い場	適宜	
21	配膳室	1	
22	用具倉庫	5	
23	子育て支援室	1	
24	保護者交流スペース	1	
整備施設・敷地名称等		数	備考
25	園庭	1	

⑤ 主要諸室・スペース等の配慮・検討事項

各施設を整備するにあたり、主要諸室・スペース等で配慮や検討を要する事項は次のとおりです。

【ア 小学校】

<施設全般>

- ・地域開放想定室・スペースは独立して使えるよう、校舎内のゾーニングを検討します。
- ・校舎内は、全体的に日照や通風、自然採光、自然換気、音響、照明、空調、配色等に配慮し、快適性を確保します。
- ・GIGA スクール構想に対応するため、校地内全域に安定した良好な無線 LAN 環境を整備します。
- ・廊下やオープンスペースなどの共用スペースは、学習成果の発表やその展示のできるスペースとして整備します。
- ・有事の際に施設内の全員が迅速、安全に避難できるよう、経路の計画、屋外への出入り口の複数設置などを検討します。
- ・防災拠点となり、災害後早期の教育活動再開が可能な学校施設とするため、十分な耐震性を確保した上で防災機能を強化した施設として整備します。
- ・地域開放を想定するため、校舎内に地域開放専用の出入り口を設置します。
- ・児童や教職員だけでなく、全ての町民が利用しやすいようユニバーサルデザインに配慮します。

<普通教室>

- ・35 人学級を想定し、また大型モニターの設置を想定した、ゆとりを持った広さ（黒板設置面から前方方向を縦とし、縦方向9m×横方向8m=72 m²以上を基本）とします。
- ・多目的室（オープンスペース）と連携し、グループ学習や ICT 機器を活用した学習といった多様な学習形態に対応できるよう整備します。
- ・ランドセルに加えて、水筒、絵の具セット、習字道具、体育館シューズ、リコーダー、裁縫道具などが置けるくらいの十分な大きさのロッカーや収納スペースを整備します。

<特別支援教室>

- ・利用者や利用状況の多様性に対応できるよう、異なる大きさの室を整備し、室によっては可動壁により広さを変更できるように検討します。
- ・カームダウン等の必要な状況も想定し、前室の整備等適した環境を検討します。
- ・特別支援教室のまとめりと、普通教室への隣接の双方のバランスをとった配置を検討します。

<多目的室（オープンスペース）>

- ・普通教室に隣接して整備することを基本とし、児童の交流の場、生活の場ともなるスペースとします。
- ・学年単位での児童の学習活動が可能な広さを確保するとともに、普通教室と連携し、グループ学習や ICT 機器を活用した学習、体験学習、総合的な学習、放課後子ども教室といった多様な教育の実施のほか、給食にも使用できるように想定し、それら活動に適した各種家具等の配置を検討します。
- ・掲示物が貼れる壁面や展示スペースの適切な配置を検討します。

<音楽室>

- ・2室のうちの1室は、児童や地域の方などが音楽等を発表できる場として活用できるような広さや機能を整備します。

<図工室>

- ・2室のうちの1室は放課後子ども教室での利用を想定します。
- ・制作物などを置けるよう、作品棚の設置を検討します。

<家庭科室>

- ・2室のうちの1室は放課後子ども教室での利用、地域開放を想定します。
- ・有事の際の炊き出しを想定した機能、配置を検討します。

<図書室>

- ・学習の場のみならず、交流の場、生活の場として児童が気軽に集うことができる場所へ配置し、自発的に読書等を楽しめるようなスペースとします。
- ・児童が学習しやすいスペース、書架の配置を行います。
- ・パソコン等で調べ学習や蔵書検索ができる環境を整備します。

<保健室>

- ・緊急車両が横付け可能な位置に配置します。
- ・グラウンドと円滑に出入りできるようにし、また相談室と連携可能なよう配置します。また、可能な限り体育館や普通教室に近い場所に配置します。
- ・複数の病人や怪我人に対応できるよう、また、多くの健診用具・設備の数（複数の収納式ベッドや収納等）のほか、造り付けの書類棚や薬品庫等の設置を想定し、ゆとりを持った十分な広さとします。
- ・バリアフリートイレや脱衣スペース、シャワールームを配置します。

<職員室>

- ・教職員（職員室の常時利用者を約60人と想定）が十分に入り、書類棚や消耗品置場等のスペースを想定した円滑に事務作業ができる広さ（200㎡以上を基本）とします。
- ・印刷室、放送室、給湯コーナーを隣接して整備し、印刷室は、教職員が教材作り等を効率的にできるよう十分な作業スペースが設けられる広さとし、必要な設備を配置します。また、放送室はグラウンドが見える位置に配置します。
- ・学校全体で使用する備品等を収納するため、近くに倉庫を配置します。

<職員更衣休憩室>

- ・教職員が効率よく執務に取り組めるよう、職員室に近い場所に配置します。
- ・教職員のプライバシーに配慮して整備します。

<支援員室>

- ・学習支援員※（約15人を想定）が十分に入り、教材の作成のほか、支援の仕方や児童の様子の話などの意見交換が出来る場所として整備します。

※学習支援員 … 特別な支援が必要な児童に対し、学校における日常生活や学習活動上のサポートを行う職員

<教材室>

- ・2学年に1室とし、普通教室に近い場所に配置します。
- ・学年別で使用する教材が十分に収納可能な広さとします。

<教師コーナー>

- ・教職員が執務をしながら児童を見守ることができるような普通教室周りにコーナーの整備を検討します。

<会議室>

- ・全教職員が収容可能な広さとし、スクリーンやプロジェクター、音響設備等を整備した上で、多目的に使用できるよう可動壁により室数や広さを変更できるようにします。
- ・教職員間のミーティングや情報交換の場、地域開放を想定し、使いやすいうよう配慮します。

<相談室>

- ・児童のカームダウンの場や面談等の場とするため、普通教室や保健室に近い場所など児童が速やかに出入室できるよう分散して配置し、落ち着いた空間とします。

<昇降口>

- ・児童の交流を生むスペースとして、屋内外の接続を考慮し適切な位置に整備します。
- ・出入り口の幅を十分確保し、下足箱、傘立て等を適切に配置し、安全かつ円滑に出入りできる広さ、形状として整備します。

<階段>

- ・複数の児童や教職員等がスムーズに行き来できるようなゆとりを持った広さとします。
- ・両側に2段手摺を整備し、全児童、教職員等が利用しやすいよう配慮します。
- ・活動スペースとなりうるような大階段の整備も検討します。

<職員・来客用トイレ、児童用トイレ>

- ・男女別トイレ、バリアフリートイレをともに適切な数整備します。
- ・各教室等からの距離を考慮し、校内にバランスよく配置します。

<エレベーター>

- ・全ての施設利用者が利用しやすいよう、車椅子対応が可能なよう整備します。

<手洗い場>

- ・児童の見守り等の観点から、普通教室や特別支援教室から近い場所への整備を検討します。
- ・感染症対策等の観点で児童が円滑に手洗いを行えるよう、適切な数整備します。

<配膳室>

- ・給食室から運ばれた配膳ワゴンを一時的に保管するための十分な広さを確保し、衛生面に配慮します。

<CS（コミュニティスクール）事務室>

- ・コミュニティスクールを推進するための事務室として整備します。
- ・地域開放を実施する場合の事務室としての機能も兼ねることを想定します。

<地域交流スペース>

- ・保護者や地域の方、児童、教職員が気軽に交流でき、飲み物が飲めて休息のとれるようなスペースとして整備します。
- ・地域住民や企業、団体などが気軽に講習や講演といった学習支援活動や踊りや演奏などの実演などをできる場として整備します。

<地域開放用トイレ>

- ・地域開放時に、開放諸室の利用者が問題なく使用できるようなトイレを整備します。
- ・様々な方が利用しやすいよう、男女別トイレとともにバリアフリートイレを整備し、授乳室の整備を検討します。
- ・地域開放を実施しない時間帯は、教職員や児童が使用することを想定します。

<メモリアルスペース>

- ・閉校となった小学校の記念品等の展示スペースとして整備します。

<給食室>

- ・小学校及び認定こども園の必要食数を調理可能なように整備します。
- ・配膳室を介して屋外に出ることなく普通教室へ配食が可能なよう相互に近接して配置します。
- ・認定こども園へも屋外に出ることなく連携、配食が可能なよう近接して配置します。
- ・小学校と認定こども園について別献立で調理が行えるよう、調理室及び下処理室は小学校と認定こども園とで別に整備し、それぞれの調理室にアレルギー対応スペース、離乳食対応スペース、必要な設備等を整備します。
- ・米飯型給食を実施するため、必要な設備（ガス式炊飯器など）を導入します。

<体育館>

- ・小学校の児童全員が集会を行えるよう、体育室はゆとりを持った広さとします。
- ・発表会等に活用できるよう必要なステージ、音響、照明等を整備します。
- ・体育授業時の熱中症事故防止や有事の際に避難所となることを想定し、空調設備や防災備蓄庫、物資搬入口の整備を検討します。
- ・小学校の授業のほか、放課後児童クラブや放課後子ども教室、中学生の部活、スポーツ少年団の活動、町民の社会体育等への開放を想定します。

<グラウンド>

- ・児童の学習の菜園スペースや外倉庫、遊具などを整備します。
- ・運動会等の行事や地域開放に活用できるよう、150～200mトラックの整備を検討します。
- ・第2期校区再編計画により、明和町立第2期再編小学校（仮称）が本事業の整備予定地に隣接し整備することとなった場合、2校でグラウンドを共用することを想定します。
- ・小学校の授業のほか、放課後児童クラブや中学生の部活、スポーツ少年団の活動、町民の社会体育等への開放を想定します。
- ・夜間使用を想定し、照明を整備します。

【イ 放課後児童クラブ】

＜施設全般＞

- ・小学校とは明確に領域区分された形で小学校の校舎に併設し、児童が放課後に安全かつ円滑に小学校校舎から移動できるように整備します。
- ・グラウンドとの円滑な移動ができる配置について検討します。
- ・放課後子ども教室等との連携を前提に、そこで利用が想定される特別教室や体育館との円滑な移動ができる配置について検討します。

＜保育室＞

- ・生活、遊び、学習等のスペースとして使用できるよう、必要な広さ（小学校の普通教室と同等の広さを基本とし、室数を少なくする場合はそれに応じて広くする）、機能を整備します。
- ・日照や通風、自然採光、自然換気、音響、照明、空調、配色等について配慮し、快適性を確保した施設とします。
- ・容易に遊び道具等が出し入れできるよう用具置き場を整備します。

＜静養スペース＞

- ・保育室2室に対して1箇所程度整備し、保育室に隣接して配置します。
- ・体調不良の児童を休ませるためのスペースとして整備します。

＜キッチンスペース＞

- ・保育室2室に対して1箇所程度整備し、保育室に隣接して配置します。
- ・食料の保管スペース及び給湯コーナーを整備します。

＜手洗い場＞

- ・キッチンスペースとの連携に配慮した位置に配置します。

＜トイレ＞

- ・保育室から利用しやすい場所に配置します。
- ・男女別とともにバリアフリートイレを配置します。

＜スタッフルーム＞

- ・職員の事務作業や打ち合わせに活用します。
- ・運営に必要な消耗品等の保管も想定し整備します。

【ウ 認定こども園】

＜施設全般＞

- ・保育室及び園庭は十分な日当たりを確保します。
- ・安全・安心に利用できるよう、外部から侵入が容易にできないように整備します。
- ・園児が容易に園外へ飛び出すことのないように整備します。
- ・各室に空調設備を整備します。
- ・登園管理システム等に対応するため、園舎全域に安定した良好な無線 LAN 環境を整備します。
- ・トイレは年齢・人数に応じ整備します。
- ・有事の際に施設内の全員が迅速、安全に避難できるよう、経路の計画、屋外への出入り口の複数整備などを検討します。
- ・救急車両が横付けできる配置とします。

＜保育室＞

- ・生活、制作、遊び、食事スペースとして使用できるよう、必要な広さ、機能を整備します。
- ・給食室と連携がとりやすいよう、特に0歳児～2歳児クラスの室は給食室と近い位置に配置します。
- ・2歳児クラス以上の室は、「幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準（平成26年4月/内閣府・文部科学省・厚生労働省令第1号）」第7条第6項の基準面積に対して1.2倍以上の面積を計画し、可動壁により2室へ分割できるよう整備します。
- ・年齢で室を区分するため、年齢や生活時間に合わせた諸室配置とします。
- ・日照や通風、自然採光、自然換気、音響、照明、空調、配色等について配慮し、快適性を確保します。
- ・ケガや事故の防止に配慮した施設として整備します。

＜ランチルーム＞

- ・園児の食事に対する意識向上やメリハリのついた行動が身に付くよう、保育室とは別に食事をとるための室の整備を検討します。
- ・同年齢の児童が収容可能なよう、保育室と同等の広さを基本とします。

＜遊戯室＞

- ・園児が安全にかつおびおびと活動でき、多様な用途に対応できるよう整備します。
- ・園児の発表や保護者の交流会のほか、様々な行事等に活用できるよう、必要なステージ、音響、照明、空調設備等を整備します。

＜午睡室＞

- ・園児が落ち着き、身体が休まる室として整備します。

＜多目的室＞

- ・主に1歳～2歳児が雨の日でも体をしっかりと動かせるよう、遊具等の利用ができる室として整備します。

＜職員室＞

- ・職員が効率的に事務作業、保育準備作業ができるスペースを確保します。
- ・園庭から出入りしやすく園全体の動線に配慮した位置に配置します。

<配膳室>

- ・給食室から運ばれた配膳ワゴンを一時的に保管するため十分な広さを確保し、衛生面に配慮します。

<子育て支援室>

- ・園児の遊びの場や保護者の交流会の場としての利用を想定し整備します。
- ・園外から直接出入りできるように整備します。

<保護者交流スペース>

- ・送迎時等に、保護者が園児の様子を見ながら歓談できるスペースとして整備します。

<園庭>

- ・園児の健全な育成のため、多様な遊びを行うことができる遊具、砂場等を整備します。
- ・園児が野菜を育てることができる菜園スペースを整備します。

(4) 建物及びグラウンドの配置イメージ図

現在、想定する建物及びグラウンドの配置イメージは図3-1のとおりです。今後、各種課題を整理しながら具体的な配置を検討します。

図中の第2期再編時の整備予定地は、当町の小学校区の再編計画において、将来的に斎宮小学校及び明星小学校が再編し、本事業の整備予定地に隣接した町有地へ新しい小学校（明和町立第2期再編小学校（仮称））を建設することとなった場合のイメージになります（第2期の再編計画の詳細は、「明和町小学校区編制にかかる基本計画（令和3年6月策定）」を参照）。

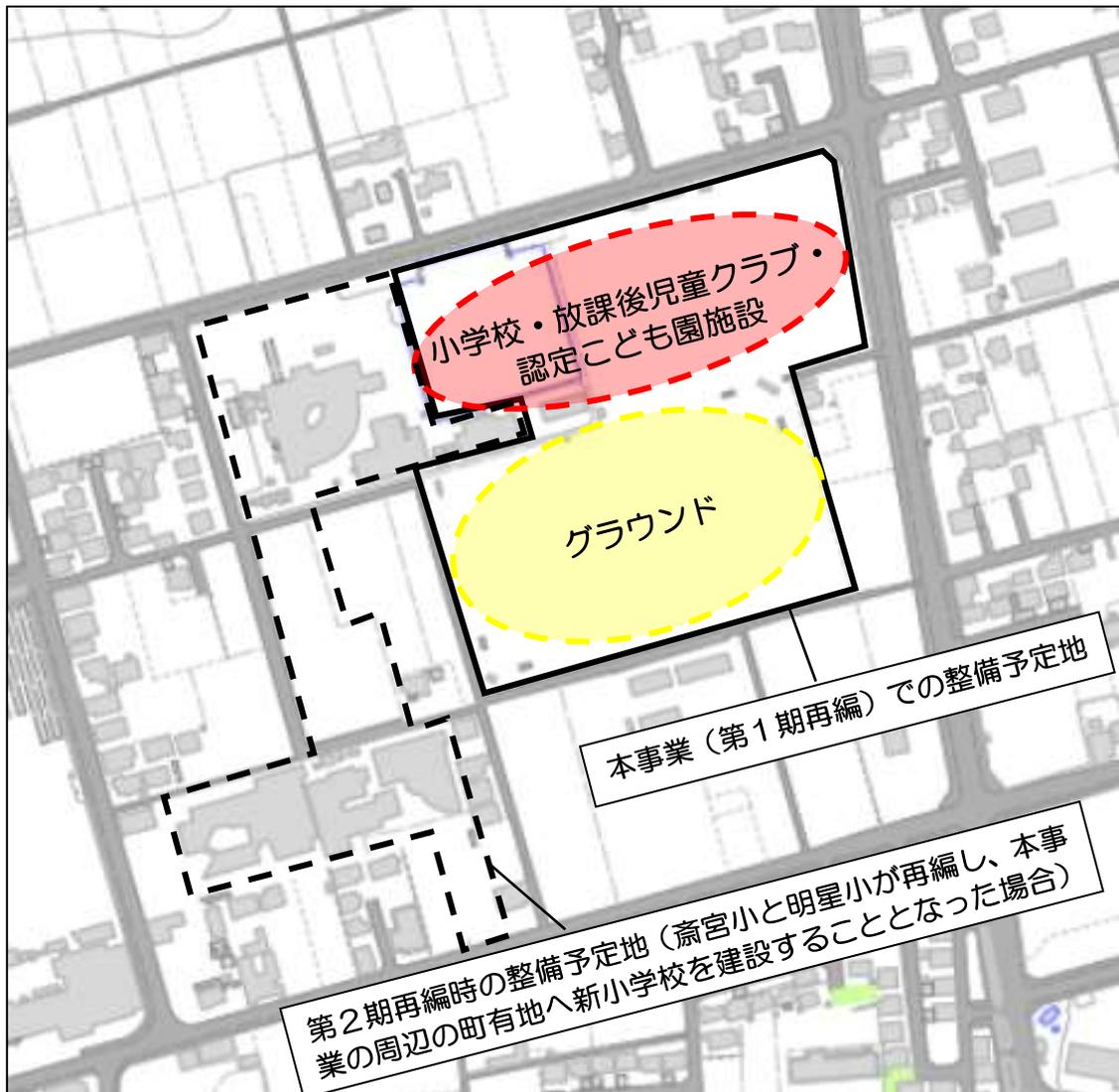


図3-1 整備予定建物及びグラウンドの配置イメージ図

(5) 施設の運営・維持管理計画

① 運営計画

本事業により整備する施設の運営は、現状の同種施設の運営状況を踏まえ、新小学校及び認定こども園は明和町教育委員会が実施し、放課後児童クラブは民間委託又はその他の方法による官民連携により実施します。

新小学校の地域開放に係る運営については、民間委託又は地域学校協働本部などによる実施を検討します（表3-2参照）。

表 3-2 施設の運営方法の概要

施設名	運営方法	
新小学校	学校教育に係る部分	明和町教育委員会
	地域開放に係る部分	民間委託または地域学校協働本部などによる実施を検討
放課後児童クラブ	民間委託又はその他の方法による官民連携	
認定こども園	明和町教育委員会	

② 維持管理計画

施設全体の維持管理業務についても効率化を図るため、各建物共通で、包括的な民間委託又はその他の方法による官民連携による実施を検討します。

(6) その他留意事項

- 「小学校施設整備指針（平成 31 年 3 月/文部科学省）」、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準（平成 26 年 4 月/厚生労働省）」、「幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準（平成 26 年 4 月/内閣府・文部科学省・厚生労働省）」等の国・県の指針等に留意します。
- ライフサイクルコストの縮減や供用後の光熱水費の縮減といった、「経済性を考慮した効率的かつ効果的な施設」の整備に配慮します。

4 参考資料

この基本構想の策定にあたっては、町内の学校職員やP T A、学校評議員、有識者で構成される明和町町立小学校等建設検討委員会を令和3年6月に立ち上げ、令和3年7月から5回にわたる会議を開催して検討を重ねてきました。

またそれだけでなく、各学校、放課後児童クラブ、就学前施設の職員など、整備する施設の関係者はもちろん、複数回の住民説明会の開催等を通して住民の方からも広くご意見を聴取してきました。

直接この基本構想に反映出来たもの、今後の課題や検討事項とするべきものなど、多様なご意見がありましたが、そのすべてを参考にしつつ、明和町立第1期再編小学校等の開校に向けてより具体的な内容の決定を進めていくため、以下の参考資料には明和町町立小学校等建設検討委員会の概要やそこでの主なご意見、その他の場面で寄せられた主なご意見及びアンケート結果等を掲載します。

(1) 明和町町立小学校等建設検討委員会

① 設置要綱

明和町町立小学校等建設検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 町立小学校等の建設に関し、安全・安心かつ、より良い教育環境の整備を検討するため、明和町町立小学校等建設検討委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 町立小学校等の建設にかかる基本構想に関すること。
- (2) その他教育長が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、20人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、各種団体の代表、識見を有する者、その他教育長が必要と認めた者のなかから教育長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、基本構想の策定完了までとする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長1人及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総括し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、第1回の会議は教育長が招集するものとする。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局 小学校区編制推進室において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めのない事項については、教育長が別に定めるものとする。

附 則

この告示は、令和3年6月18日から施行する。

② 委員会名簿

＜委員＞

(◎は委員長、○は副委員長)

	区分	所属等	委員氏名
1	学校関係者	大淀小学校（教頭）	○ 樋口 由憲
2		上御系小学校（教諭）	山中 良之
3		下御系小学校（校長）	◎ 濱口 秀樹
4		斎宮小学校（教諭）	谷口 竜士
5		養護部会代表（明星小学校養護教諭）	山下 陽子
6		給食部会代表（斎宮小学校栄養教諭）	榎本 恭子
7	PTA	大淀小学校PTA	佐保田 和子
8		上御系小学校PTA	倉地 由佳
9		下御系小学校PTA	西井 智哉
10		斎宮小学校PTA	朝日 知美
11	学校評議員	大淀小学校評議員	西山 隆
12		上御系小学校評議員	矢吹 匡
13		下御系小学校評議員	鈴木 壮
14		斎宮小学校評議員	森本 壮

＜アドバイザー＞

三重大学大学院 工学研究科建築学専攻 准教授	大月 淳
------------------------	------

＜事務局＞

明和町教育委員会	教育長	下村 良次
	教育課長	菅野 亮
	教育課 教育指導係長	渡邊 晃子
	こども課長	西村 正樹
	ささふえ保育所 園長	竹 歩
	小学校区編制推進室長	中瀬 基司
	小学校区編制推進室 編制推進係長	荒木 隆伯
	小学校区編制推進室 編制推進係	西井 直貴
	小学校区編制推進室 編制推進係	小濱 秀斗
松阪市教育委員会	学校支援課 学校マネジメントコーディネーター	田中 伸之

＜オブザーバー＞

株式会社 百五総合研究所 主任研究員	川北 晃二
--------------------	-------

③ 基本構想策定プロセス ～委員会及び住民説明会等の実施概要～

種別	開催日時	内容
第1回委員会	令和3年7月8日(木)	委嘱状交付、委員紹介、委員長・副委員長選出、校区再編計画の説明、人口推計説明、教職員・児童アンケート結果の説明、検討概要についての意見交換、今後のスケジュール確認
第2回委員会	令和3年8月3日(火)	オープンスペース及び地域開放の整備に関するグループワーク
第3回委員会	令和3年8月20日(金)	コミュニティスクール、地域開放、放課後児童クラブ、認定こども園の整備に関するグループワーク
住民説明会	令和3年8月22日(日)	会場：上御糸小学校 体育館 基本構想(中間案)の説明会、意見聴取
関係者への 意見聴取	令和3年8月23日(月) ～ 令和3年9月6日(月)	各小中学校職員、放課後児童クラブ職員及び就学前施設職員に対し、基本構想(中間案)に関する意見聴取
住民説明会	令和3年8月24日(火)	会場：下御糸小学校 体育館 基本構想(中間案)の説明会、意見聴取
	令和3年8月26日(木)	会場：大淀小学校 体育館 基本構想(中間案)の説明会、意見聴取
第4回委員会	令和3年10月1日(金)	基本構想(中間案)の協議
住民説明会	令和3年10月9日(土)	会場：中央公民館 大集会場 基本構想(中間案)の説明会、意見聴取
第5回委員会	令和3年10月15日(金)	基本構想(案)の最終協議・確認

④ 明和町町立小学校等建設検討委員会での主な意見

<第1回>

1	基本構想とはどういうものか。例えば、方針があり条件があるものなのか。
2	文科省や県、明和町の教育行政大綱などに方針が出ているので、これらに基づいて、事務局のたたき台をもとに、この委員会で協議していくのが良い。
3	子どもの通学手段といった学校を取り巻く環境がどう変化するのか気になる。
4	この委員会では、例えば大きな教室にすべきとか、そういった議論内容で良いのか。
5	給食について、ランチルームを造ることで必ずしも教室で食べなくても良いようにする等の選択肢があってもよい。他学年の交流も生まれると思う。
6	中学校が新しい施設になり、米飯等の設備が入った。小学校の施設が古いので献立等の制限がかかっている。新しい学校には米飯型給食をしてほしいのと、焼き物器等の設備や施設面の充実を図ってほしい。既存の小学校の整備にもつながるように検討してほしい。
7	第2期再編小学校を第1期再編小学校の近くに持ってくるのであれば、給食センターを建てて全ての小学校へ配食してはどうか。
8	センター方式と自校方式のそれぞれにメリットがある。センター方式は配送時間のロスがあるほか、自校方式よりも衛生面において良くない。また、他の市町と比べて明和町の食数規模でセンター化するメリットがどこまであるか疑問。さらに、現在、自校方式のため、給食の時間が近づくと教室で良い匂いを子どもたちが感じる事ができている。いろんな面から検討していただきたい。
9	障がいを持つ児童も安心して楽しく学校へ通えるような環境整備をしてほしい。大淀小では他の児童が自然とサポートしている。
10	現状、各小学校で施設を開放している中で、新しい小学校が地域開放を実施したとしても、旧校舎となる施設の活用を無くさないでほしい。
11	学校職員としての立場から言うと、中学校とは異なり今回は4つの小学校が再編される。これまで複数の小学校で働いたが、学校によって、子どもたちの様子や地域の気持ちも異なる。さらに700人規模となると検討するテーマは多い。これらを踏まえた上で、3カ月で基本構想を作っていくのであれば、効率的な進め方が必要である。
12	現場の先生には、新しい学校の構想をつくる計画などを知らない方が沢山いる。その中で準備が進んでいくと先々心配になってくる。できれば、各学校の職員を対象に現状説明の場を設けていただくと良い。
13	「どんな学校にしたいか」が無いと、まとまりにくいのではないかと。4校を再編するので、それぞれの良さを出し合いながら、「こんな学校を造っていきたい」を考えた上でどんな施設が良いかを考えるべき。チームティーチングについても設備だけを考えるのは簡単だが、現場の先生がチームティーチングはできないと感じれば、作ったが無駄になる可能性もある。
14	体育館も第1期、第2期で1棟ずつ建てることになっているが、1つの大きな体育館を建てる構想はあるのか。斎宮小は20年先の再編であるが、そのころには、体育館がかなり老朽化している。
15	教室が広ければ広いほど良いわけではない。教卓に立ったとき、全員を見渡せる必要がある。写真や現場を見学した方が、イメージつきやすい。

16	老朽化した時にどれだけ修繕費がかかるか等も考えておかないといけない。建てた施設が後々修繕できないとならないようにしてほしい。
17	やはり一番に考えたいのが安全面。大きな地震がいつ起きるか分からない中で、見た目はすごく良いが崩れてきたり、逃げる場所がなかったりする施設ではいけない。今の学校はどこからでも侵入できてしまう。子どもたちを安全に守れる配慮が必要だ。
18	学校現場として一番気になるのは安全面。ただし、地域との関わりも当然大事である。どちらも重視したい。その中で、どんな学校にしていくかを詰めていく必要がある。これらを含め、委員のそれぞれの立場からお考えいただき、様々なご意見をいただきたい。

<第2回>

1	校舎のデザインは、できれば斎宮をイメージしたものが良い。配布資料に書かれていないので、是非入れてほしい。
以下、オープンスペースに関する意見（グループワークより）	
2	下御糸小のオープンスペースがすごく素敵に感じる。
3	オープンスペースに壁がない方が普通教室と連携して使いやすく、目も行き届きやすい。
4	教室前に広い廊下（オープンスペース）がある他市の小学校で学校生活を送った経験がある。自然とクラスや学年の壁を越えて交流できてよかった。防音等の問題があるが、資料にあるようなスライドドアがあると解決可能ではないか。開放的かつ場合によりスライドドア等で区切れるようなオープンスペースがベストではないか。
5	オープンスペースを通じて異学年交流も可能となる。大きなメリットかと。
6	オープンスペースの使用方法には多様性を持たせたい。
7	子どもたちが楽しくなるような場であってほしい。学校は安全安心と勉学を鍛える場所との認識はあるかと思うが、やはり教室に対する子どもたちからの不満等の声が入ってくる。子どもたち自身で工夫して活用できるような空間を作っておくと良いと思う。
8	図書室も、誰もが立ち寄りやすい場所にしたい。
以下、地域開放に関する意見（グループワークより）	
9	明和中学校は1階に図書室があり、1階にあると地域の交流もしやすく感じる。小学校では朝読も行っているので、明和中学校と同じような配置がよいのでは。
10	図書室の大きさはどれくらいになるのか。地域開放するのであれば、本の数も多くなり部屋も大きくなる。対象をどこまでとするかによって変わってくる。
11	図書室は子どもたち専用にした方がよい。コロナ感染防止などを考えると地域開放するより、子どもたちだけの安全な図書室の方がよく、子どもたちを中心とした図書室がよい。別に町の図書館が近くにある。開放することでかえって子どもたちにとって使い勝手が悪くなりそう。
12	家庭室や音楽室は2室のうち、どちらか1つを開放すればよいのでは。
13	調理室は地域開放したほうがよい。災害時に備え、普段から使い慣れていけば、安心できる。
14	視聴覚室は和室と洋室があるスペースがよく、地域開放の部屋としても良い。

15	音楽室と視聴覚室が合わさったものがあれば、ニーズが高まるのではないかな。
16	事務室の開放はあるとよい。自治会などの業務に使わせてもらえると有難い。
17	災害時の避難スペースが体育館だけでなく、違う箇所にもあればよい。
18	地域開放した時にどれくらいニーズがあるのか。
19	地域開放することによる安全面が気になる。受付等の目があるべき。
20	安全確保のために囲いをして閉鎖的にする方法もあるが、そうすると地域との交流がなくなってしまう。地域の方が学校内にいた方が、不審者対策として安全ではないかな。
21	地域開放は旧校舎の活用も考える必要がある。
22	地域の老人会が「見守り隊」をしている活動の一環で「感謝の会」があり、そこで昔の遊びなど（こままわし、あやとりなど）を子どもたちと一緒にやることがある。今の部屋の大きさが小さいためもう少し大きい部屋があるとよいのでは。
23	有事の際に地域の方々が諸室を使えるような仕様にしておいた方がよい。
24	実際に地域開放するのは、もう少し先になるのでは。
25	発表等ができる大きな多目的ホールを整備し、地域の中心となるようなアピールができるとうい。壁に収納されていて使うときに出せるような座席があると、発表等の場で皆に利用してもらいやすく便利である。公民館で行っている講座だけでなく、それを子どもたちに披露する場として活用することはとても良い。
26	多目的ホールを使って、土日とかに子どもたちに向けて地域の方々に披露してもらうのはとても良い。学校のホールを使って子どもたちに気軽に披露できれば、これも良い「地域開放」である。
27	学校が地域開放の部分も管理するのは難しい。専用職員を付けてほしい。
28	地域開放対象となる部屋は子どもたちと動線を分けるべき。前の明和中の校舎のような別棟（技術棟など）であれば、学校としても管理しやすい。
29	地域開放と学校の共用ゾーンは、あくまで学校優先であるべき。
30	避難所の機能を有するのであれば、ペットと一緒に避難してくる想定も必要。校庭に飼育小屋のようなものがあればそういった際に利用可能ではないかな。近くに畑などあれば農業体験の場としても利用できるのではないかな。農機具等も入れておける多目的な倉庫の位置付けがよい。児童の中にはアレルギーが心配な子もいる。共用スペースではなく、完全に分けて建てるのであればよいかと。
31	グラウンドの開放については、スポ少や老人会など、今までと同様の形を継続してほしい。
32	グラウンドがとても暑い。学校では、わざわざ夏にテントを立てて日陰を作っている。日陰とベンチがあって、少し休めるような空間があれば授業でも使えるし、地域開放時にスポ少等も休憩しやすい。こういった整備をすることで、これまで以上に人が利用しに来るようになるのではないかな。
33	地域と子どもたちの動線は分け、地域の出入りは専用で設けるべき。事務室は入口付近に設け、目が行き届くようにした方がよい。
34	平日の子どもたちがいる間の特別教室の開放は、防犯上の問題で難しいのではないかな。開放するのであれば、対象の特別教室は動線を分けるべき。シャッター仕切りなどで開放しないゾーンとしっかり動線を分けておくべき。

35	「地域開放＝児童、先生、地域の方々などのいろんな方との交流」と捉えた場合、完全に仕切ってしまうとそういった観点に逆行する。授業中とか、仕切るべき場所はあると思うが、知らない方が目の前に来た時に、自然と挨拶が行えるようになる等はとても大切であり、そういった目的を果たすことも交流の一つかと。完全に動線を仕切ってしまうのはどうか。
36	地域開放の際の受付さえしっかりしていれば、子どもたちがいる時間帯でも運用次第でうまく開放できると思う。できない部分もあるかと思うが。
37	日頃から地域の方が利用することで、「学校に慣れる」「避難所として使用する際にもスムーズに動ける」ことにつながる。防災の観点でも、地域開放は大切。
38	音楽室や家庭室は、夜間などにおける開放方法を検討する必要がある。
39	地域の利用方法を先に決めてから、特別教室の利用を検討すべき。各地域でコミュニティ施設の使い方が異なる。各地域にどのような地域開放ニーズがあるか分からないまま、音楽室とか図書室などに関してどこまで開放すべきか読みづらい。

<第3回>

1	例えばスロープや障がい者用トイレなど設置し、障がい者が利用しやすい造りとしてほしい。
2	雨天や災害時における児童の引き渡し場所の確保も必要。斎宮小の場合、雨天時は送迎車両で前の道路までいっぱいになる。絶対に配慮してほしい。
以下、地域開放に関する意見（グループワークより）	
3	地域開放対象は今後見直しされる可能性があるのか。既存の公共施設や小学校の跡地利用などの活用を整理してから、不足部分を新しい小学校の開放で対応するといった検討の余地がある。
4	町の中でニーズ等の調査ができれば、どういった開放をすべきか分かる。
5	いきなり地域開放を実施するとセキュリティが確保できない。例えば、まずは子どもたちのいない土日のみ開放するなど徐々に開放を始めるべき。
6	地域によって特徴が異なる。いろいろな条件や計画（跡地利用）などを整理した方がよい。町全体で各施設との兼ね合いを含め、しっかりしたルール作りをした中で新しい学校を利活用できれば、良い地域開放ができると思う。
7	新小学校の児童数は1学年で100人超。一方で、町の小学校では音楽の発表は学年単位で実施しており、1クラスではしない。このことを踏まえて、音楽室の広さを考えると保護者等も見学に来たら、少々広げても入らない。少しの催し物は体育館やオープンスペースで行う可能性がある。
8	松阪市の鎌田中学校の多目的ホールのような面積があれば、活用の幅が広がる。教師の立場からすると、同じ発表を何クラスも繰り返すような運用は選択したくなく、1回で終わらせたい。学年規模を踏まえると、行事等は体育館で行うことが多いと思う。
9	イオン明和店の横で音楽の発表活動を実施している方がいる。音楽をやりたくてバンド組んでいる方に対して、場所を提供することはとても有難いことと思う。地域開放の対象にするべき。
10	図書室は、地域開放から外すのが良いと思う。ふるさと会館が近くにある。
11	図書室まで開放してしまうと、管理しきれなくなる。

12	CS（コミュニティスクール）事務室を設置し、地域開放もそこで管理する案があるが、誰かを雇うのか。先生が管理するのは負担が大きい。
13	地域開放をすると誰が来訪するか分からないので、是非、専属の管理人を配置してもらいたい。誰かが勝手に教室に入ってきた場合にも、きちんと対応してくれるような人が必要。地域開放については賛成の部分もあるが、管理面と安全面を十分に考慮した動線を作ってもらいたい。
14	昼間の時間帯の運用方法については、きちんと議論が必要。
15	地域開放のニーズはどうか。
16	役場や公民館の会議室がいっぱいの時があるので、学校も含めたいろんな場所の部屋を使えるようにしておくことはとても良いと思う。
17	地域の意見も聞いておいた方が良い。いざ地域開放する時に使い勝手が悪くなるかもしれない。
18	本日の松阪市の鎌田中学校の事例発表では「地域開放の利用者は登録制」とあったが、どのような主体が制度を管理しているのか。
19	1階を交流スペースとするのであれば、開放する教室は1階にまとめた方がよい。
以下、放課後児童クラブ、認定こども園に関する意見（グループワークより）	
20	小学校と認定こども園が近くにあるのは、交流が充実できるので良いと思う。
21	学童が校舎内や敷地内にあるのは安全面からも良い。一方で、校舎内にあることによって運用面で双方の協議が必要になると思う。
22	校舎から学童に外を通過して移動する場合、雨除けの屋根付の外用通路が欲しい。

<第4回>

1	基本理念は良い文章と思う。ただ、基本理念やコンセプトのフレーズがどういう過程で生まれたのかがわからない。町の総合計画や教育行政大綱、小学校区編制にかかる基本計画に断片的に関係する記載がある。それらから立案されたのであれば問題ない。
2	4つのコンセプトの記載の順番が気になる。基本理念では、最初に「地域とともに」というキーワードがあるので、コンセプトでも最初に「連携・協働一」が来て、基本理念では、次に「未来の可能性を広げる」であるので「多様な学び一」が続き、最後に「安全で安心一」等といったように、並び替えることで、言葉の意味をつけて、基本理念と対応したコンセプトであることを明確にした方がよいのではないかと。ただし、一番の基本は「学び」で次に「安全・安心」という考えがある場合や、基本理念の説明文章中にコンセプトに出てくるキーワードが入るなど関連性がもう少し分かるようになれば、良いと思う。
3	コンセプトの「豊かな心一」に「愛着・誇り・感謝の気持ち一」とある。愛着の持てる学校をどう具現化するのが、後段を見てもわからない。後段のどこに反映されているか明確になれば、また、その内容が適切であれば良い。例えば、玄関の柱部分だけなど、さりげないところであってもコンセプトを反映させた方がよいと思うが、全てにつじつまが合わないにしても、逆に設計者にその行間を埋めてもらうよう提案してもらい、学校としての可能性が広がるのであれば良いと思う。
4	「明和町の郷土愛を持たせる」という内容が、基本理念には記載されていない。ただし、上位計画にはある。よって、コンセプトに追記して、一部であっても齋宮をイメージするデザインにするというようなことができればと思う。

5	<p>斎宮小の校区のうち今回の再編対象となっている地域は、斎王と深く関わりのある地域ではない。また、他の再編対象の3校との兼ね合いも踏まえると、学校のデザインに、斎宮などの明和町らしさに関するコンセプトをどのように取り入れるかはセンシティブな問題だと思う。コンセプトに斎宮の話が出たのは有難いが、他の校区の方がどう思われるかが気になる。デザイン部分は、ある程度設計者に委ねる中で、ここで出た意見をくみ取ってもらえる可能性があるのであれば、それで良い。</p>
6	<p>「施設の概要・整備計画方針」以降のページは、設計・建設に関する細かい内容となっている。理念とコンセプトをしっかりと叩き込み、「施設整備のコンセプト」くらいまでの掲載するのでも問題ないのではないか。</p>
7	<p>大月先生は専門的視点で現案を確認頂いている。また、事業実行段階では設計期間が約1年あって、その段階でも設計プランの検討がなされる計画である。これらのことを踏まえて、現案は、必要なテーマを概ねカバーできているのか。また、足りないテーマがあるのか。ただ、事務局は委員の各質問に対して回答して疑問点を解消してくれている。また、大月先生が、「一定の基準はクリアしている」と判断されるのであれば、あまり細かいことを心配せずに、大きな枠組みを決定して次のステップに進めるので良いと思う。</p>
8	<p>町の教育行政大綱等を見ると、コンセプトに対応して、具体的な取組み内容が記載されている。事務局で、コンセプトごとに、具体的なコンセプトの実現策を整理してもらおうと最も好ましいが、時間的に、また、項目が多く関連性の整理が作業的に難しいのならば、現案の内容で、完成に向けて整理を進めてもよいのではないかと。個人的には、コンセプトと実現策との関連性に関する文章表現が明確に整理しきれていないため、後半の設計・建設に関する内容は、本委員会の次のステップに委ねるべきと思ったが、そこまで関連性にこだわる必要がないのならば、問題ないと考える。</p>
9	<p>後半の設計・建設に関する内容がないと、プロポーザルを実施する場合に、具体的で有効な提案がなされないと考えられる。前半の内容だけでは、漠然としすぎている。よって、現案のように設計・建設に含まれているのが好ましい。</p>
10	<p>明和中では地域開放を想定した部屋を配置したものの、想定通りの運用になっていないようだ。この状況で、地域開放を想定した部屋を基本構想に記載すべきか悩む。将来的に地域開放を実施するとなった時に対応できるように記載すべきというのであれば、書いた方が良いと思う。</p>
11	<p>学校を開放することは問題ない。ただ、町内で開放している施設はどんなところがあり、需要がどうか、なぜこの学校を開放するのかという説明の材料が少ないと思う。その中で、潜在的な需要はアンケート等でニーズ調査をしてもなかなか拾えないため、探る前に実施することで潜在的な需要を喚起するという発想があるのであれば良い。</p>
12	<p>校舎で災害があった際、例えば、給食室が火事になった時に屋外に避難する際、今の明和中は階段が狭く、2か所の階段で避難できるのかと疑問に感じたことがある。今後、さらに施設面の検討が進む中で災害時の避難経路を考えていく必要がある。</p>
13	<p>トラック（150m）を2つ配置する計画だが、新しい学校は大規模な学校であるため、全校で運動会を開催した時に、保護者が見学に来ることが可能か心配。コロナ禍を経験しているため、スムーズに開催するためのいろいろなやり方は考えることができると思うが、今後、検討が必要と思う。</p>

<第5回>

1	自分の意見が採用されたかどうかは別として、基本構想に記載されていることが具体的に具現化される段階になれば、この委員会に参加した委員は、参加してよかったと思えるのではないか。
2	保健室で勤務する立場上、様々な事案を想定しながら考えて、意見を出してきたため、個人的には、全ての目的を満たす理想的な校舎のイメージまでは考えることができず、まだ、考慮していない事案などがないかと気になるところである。ただ、地域の方にも最大限利用してもらって、かつ、1年生から6年生までの子どもたちが安全・安心に過ごせる学校を作ってほしい。
3	教員の立場で考えると、これからどのように具体的に事業が進められていくのかと考えることが多い。本委員会で終わりではないので、出来れば現場の声を吸い上げていただきたい。これまで意見も吸い上げて頂いているが、教員によって意見が異なる場合があるので、細かく意見を吸い上げて頂き、出来る限り教員の希望に沿った学校を作っていただきたい。予算のこともあるので、全てが希望通りとなることはないと思うが、子どもたちの育成に影響するところは、充実を図るべく努めていただきたい。
4	本委員会で聞いたことを他の先生と共有し、より多くの先生に新しい学校に関する現状の計画を分かってもらい、意見を出してもらえるようにしてきた。中には、新しい学校にはプールが無いことを知らないとか、運動場の大きさを知らない職員もいる。これまでと同様にこれからも色々な意見を聞いて反映させてもらいたい。
5	一番大切なのは設計と思う。現実的なことをきちんと取り入れてほしい。
6	オープンスペースなど具体的な教育場面が検討の中で出てくるとイメージが湧くが、部屋の広さで考えていても自分たちが思っているサイズと違う可能性がある。基本構想で具体的に記載されているものは、どのくらい設計で重視されるのか。また、検討してきたものが予算によって削られる可能性があるため、今後もこれまでと同様に多くの意見を聞き、優先順位など細かい願いをくみ取りながら進めてほしい。
7	こども園や学童クラブについての意見が少なかったと思うので、今後も引き続き現場の声を聞いて、現場の先生と詰めながら構想を具現化して行ってほしい。
8	給食部会では、事務局も参加して、給食室の内容に関して具体的な話し合いをした。現場の要望を言う良い機会になった。こども園でも離乳食や刻み食など細かい対応が必要になる。コスト面の制約もあると思うが、安全・安心を第一に、子どもたちにおいしい給食を届けられるように、設計段階でも専門部の意見を取り入れて欲しい。

(2) その他のご意見

基本構想（案）に関する意見

（対象：各学校職員・各放課後児童クラブ職員・各就学前施設職員・町民）

※基本構想（案）の項目ごとに掲載

1. 目的・背景

（意見なし）

2. 基本条件

(5) 事業スケジュール

- 事業スケジュールに、「①整備施設の供用開始時期」、「②整備施設の完成時期」が記されている。建設検討委員会のプロジェクト全体における位置付けや、全体スケジュール中のどの工程にあたるかも明記いただきたい。（この点については、「背景」に記されるべきものかもしれない。）

※ 校舎（建物）建設に関わる想像されるスケジュール

～令和2年度	「明和町小学校区編成にかかる基本計画」の策定
～令和3年度	「明和町立第1期再編小学校等建設基本構想」の策定
～令和4・5年度	第1期再編小学校等校舎建築設計
～令和7年度	第1期再編小学校等校舎建築施工
令和8年度	開校

3. 施設の基本理念・コンセプト

(2) 施設整備のコンセプト

- 施設（建物）のみにとどまらず、その内容を決定づける全ての事象について記載いただきたい（例：教育内容、人的配置、物的設備）。
- 「多様な人の知が集まる」とあるが、具体的な手立て（仕掛け）としてどんなことがあげられるのか分かりづらい。
- 「教職員のパフォーマンスを最大化する学び舎」はありがたい一文。しかし、3階建て校舎のイメージ図をみると3階に職員更衣休憩があるなど、修正してほしいところがある。
- 「避難所として防災機能を備えた学び舎」については、災害発生時に校舎を避難所として使用すると学校再開が遅れることがあり、その点においては、避難所としてなるべく開放しない方がいいと聞いた。東日本大震災などの教訓を生かしつつ検討していただきたい。
- 「地域コミュニティの強化につながる地域に開放された学び舎」の「地域」はどこを指しているのか。町全体？校区？令和8年4月からすぐに新しい学校の校区が新しい地域コミュニティというのは難しいと思う。跡地利用なども考慮しながら、今の学校の地域コミュニティを大切に考え進めていただくことを望む。
- 「どこでも楽しく体力づくりができる学び舎」とあるが、体力づくりは体育館や運動場ですればいい。学び舎が体育館や運動場も含めて言っているのであればこれでいいが、校舎のみを指すのであればこれはいらぬと考える。
- 「ユニバーサルデザイン学習の生きた教材にもなる、ともに育つ学び舎」については、特別支援教室と普通教室がなるべく近くにあったほうがよいと考える。

(4) 施設の概要・整備計画方針

③ 想定諸室・スペース等一覧、④ 主要諸室・スペース等の配慮・検討事項

【ア 小学校】

<施設全般>

- ・「日照や通風、自然採光……」と書くと、屋根が複雑化し、雨漏りを起こしやすくなるのではないかと心配。単純な屋根の方がいい。
- ・今後の感染症の予防を考慮し、教室等への換気扇の設置をお願いしたい。
- ・「高速大量通信可能な無線LANなどの設備の整備」については、電波の飛び範囲を、教室内だけでなく廊下や体育館など校舎内全てにしてほしい。
- ・ICT機器がスムーズに動くような環境が必要。
- ・ネット環境が不安定にならない構造にしてほしい。これからのICT機器活用を考えると必須。
- ・「校舎内のどこでも、バリアフリー・ユニバーサルデザイン」といった考え方は必須。1階教室からは、直ぐに屋外へ出られるドアが必要。
- ・エレベーターは車椅子対応ができるものにしてほしい。
- ・エレベーターは、身体の不自由な人が使う特別なものではなく、「全ての方が利用しやすいように」という書き方はうれしい。学校全体についてバリアフリー、ユニバーサルデザインで考えていただきたい。
- ・災害時の避難経路は安全か。昇降口以外にも子どもが出入りできる非常口をいくつか設置していただきたい。屋外との境界においても、災害時などを想定し、複数の出入り口、十分な広さを確保していただきたい。
- ・非常口は、多めに付けてもらえるか。施設のイメージ図（2階建校舎①）を見ると、一つの階段を多くのクラスが使うことが想定される。家庭科室が火元になった時は、その近くの階段は使えないため、1階階段を下りてすぐ東側に非常口があると混雑しにくくなると思うので、改善してほしい。
- ・避難経路については、1階の教室は、直接外へ逃げられるように、各教室に出入りできる窓をつけるべきだ。昇降口は1箇所にせず、2、3箇所に分けるべき。非常口が多い方が混雑しない。
- ・南海トラフ地震に備え、太陽光発電を設置した方が、授業の再開が早くなるのでは。

<普通教室>

- ・普通教室は27部屋とある。学年部に1つの余分教室ということだと思うが、それほど必要でしょうか？
- ・「大型モニターを設置」については、低学年が学習場面で利用することを想定し、子どもたちの視線（モニターへの視線の高さなど）を考慮して、子どもたちが着席時に見やすい高さで設置するか、または可動式タイプとしてほしい。
- ・多目的室（オープンスペース）との連携については、普通教室の廊下側の壁は設置せずに、開閉ができるドアを設置すれば多目的室との連携は取りやすくなる（下御糸小の低学年教室がそうになっている）。
- ・「ランドセルに加えて小物類が置けるようなロッカー」とあるが、これでは小さいように思う。ランドセル、水筒、絵具セット、習字道具、体育館シューズ、リコーダー、裁縫道具……。これらが置ける広さを望む。
- ・開校当初は1クラスの人数が多いことが想定されるので、教室の中での収納スペースを確保してほしい。ランドセル・習字道具等の学習道具に加え、最近ではランドセルの重みを考えて教科書を置いて帰るケースも多くなっている。
- ・教室の黒板、モニターの配置は、タブレットを使うことを考慮して、教員の意見を取り入れてほしい。

- ・児童用のロッカーは大きめのものがあると使いやすい。最近のカバンは大きくなっており、荷物（教科書、水筒等）も増えてきた。
- ・絵具セット、習字道具、裁縫道具などを保管する収納場所がほしい。小学生は、何かと荷物が多い。
- ・明和中では、教室が黒板のままでホワイトボードになっていない部分もあるが、新しい小学校も同じように整備されるのか。
- ・空き教室はクールダウンをする場所になったり、ちょっとした話し合いに活用できたりすることもある。

<特別支援教室>

- ・特別支援教室については10室の想定だが、各学年で2クラス（自情・知的他）の対応ができるよう、12室（6室を移動壁で間仕切りできる仕様で2室の確保が可能）にしていきたい。
- ・前室はどのように活用するのか。特支担当の先生の意見をよく聞いて対応してほしい。
- ・各学年の普通教室の近くにあるといい。普通教室と行き来する子どもの対応を含めて考えると、学年にプラス1室があるといい。

<多目的室（オープンスペース）>

- ・多目的室（オープンスペース）は、前任校にもあったが、利用しづらかった。オープンスペースを配置したがために、教室自体がやや狭かったり、掲示物を貼りにくい作りになっていたりしていた（教室の窓が大きすぎて壁に物を貼れなかったことも関係している）。オープンスペースを配置することには反対しませんが、日本の教育の特色上、教室での活動が中心になるので、教室での活動のしやすさを前提に作っていただきたい。
- ・一学年が一度に入れる位がよい。会議室にも使用可能にしてほしい。オープンスペースを設置する場合、周りの声や音等で集中しにくい児童もいるため、教室を仕切れる可動壁がほしい。
- ・オープンスペースを配置する場合、掲示物を貼る場所がほしい。
- ・明和中のように壁やドアがある場合、使い勝手は少し悪くなる。一方で、壁がない場合、音や冷暖房の問題がある。
- ・移動式棚があればオープンスペースで活用しやすい。ただ、地震の際に通路をふさいでしまう恐れがあるので、置く場所を考える必要がある。
- ・授業との連携を考えると、全ての普通教室前にオープンスペースがあった方がよい。その場合、オープンスペースは学年毎（6箇所）にほしい。

<理科室>

- ・理科室と家庭室について、総授業時間数を大まかに計算すると、「理科（3時間×4クラス×4学年＝48時間）、家庭（2時間×4クラス×2学年＝16時間）」になる。理科室が3つあれば時間割も組みやすくなるが、準備室を3教室分にするのは予算的にも管理的にも大変と思う（学年4クラス以上の学校には理科室を3教室あるのか）。2教室で良いと思う。

<音楽室>

- ・音楽などを発表できる場として活用できるような広さや設備に関しては、小規模なホールのようなイメージを持っていた。現在で考えると、このような活動は体育館で行っており、体育館で十分足りている。せっかく配置するなら、小規模でもきちんとしたホールとして整備したほうが良いと考える。

<図工室>

- 絵などを乾かしておくための作品棚が多めにあると便利である。学年毎に設置されているとさらに良い。その場合、棚を設置する場所が必要となる。
- 時間割編成のことを考えると、2教室あっても良いのではないか。5、6年生は多くて8クラスになるのではないか。

<家庭科室>

- 家庭科室は2室あった方が、時間割が組みやすいのではないか。1室だと5、6年生で8クラスの場合、3、4限と5、6限を水曜日以外の全ての曜日で家庭科室を使うことになる。9クラスになると水曜日も使ってなんとか足りる水準である。可能であれば、家庭科授業では、1、2限目は避けたい。また、災害時の避難所になった時は、2室あったほうが、使いやすいのではないか。
- 家庭科室（準備室含む）は小学校の学習を考えた場合、1室で足りるはずなので、1つは低学年の生活科等での利用を想定して、少し低い位置で調理作業などができる室にすると、とてもありがたい。
- 防水性のある床にしてほしい。

<図書室>

- 図書室は学校教育の中核を担っているという意識のもと、整備を進めてほしい。司書の常駐、基準の蔵書冊数を置くスペース、本が日焼けしないような配置、子どもが勉強できる机、パソコン等で調べ学習や蔵書検索ができるようにするなど、十分な設備やスペースを望む。
- 廊下からも中が見渡せるようにしてほしい。

<保健室>

- 700人規模の学校で保健室は一つで大丈夫か。現在のような感染症への対応のほか、様々な子どもへの対応の必要性を考えて、保健室に準ずるような部屋を隣に造ってはどうか。
- 700人規模の学校では、病気やけがの対応のほか、保健室登校の受け入れなど、非常に多様なことが要求される部屋となると想定される。室内にいろいろな機能を持たせると、本来の保健室としての役割がおろそかになる可能性が大きい。シャワールームなどは保健室に隣接する所に配置いただきたい。
- 運動場に面する必要がある。本校の記録によると、校内における怪我の場所は運動場が多く、その場合、保健室で対応するケースが多い。保健室から運動場の様子が見ることができたり、養護教諭が現場に直行できたり、子どもたちが処置を求めて運動場から保健室に行くことができたりするように配慮いただきたい。
- 「相談室と繋がり連携可能なゾーニング」とあるが、保健室が別室とつながっている学校は数多くあるものの、実際に活用されているところはほとんど見たことがない。本当に必要なのか疑問である。
- 運動場が見渡せる場所で、教室から離れていない場所への配置をお願いする。
- 救急車やお迎えの自動車に配慮し、保健室前に車が付けられるとありがたい。
- 廊下側の入口は2箇所配置して、可能であれば引き戸にしてほしい。
- 健診から児童の対応ができるスペースがほしい。
- 職員室のほか各教室へのインターホンがほしい。また、外線にも接続してほしい。
- 薬品庫、書棚などは、しっかりしたものを作り付けで設置してほしい。
- ベッドは収納式でも良い。ただし、多くの物をしまえる部屋、戸棚を希望する。

- ①外さないでほしいもの、②できればほしいもの、③なくてもよいものは、以下の通り。

外さないでほしいもの	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室倉庫は広いのが良い。どこの保健室でも、4月にしか使わない検診器具の置き場所に困っている。 ・個人情報の記載されているものを管理するのに便利なため、書類用棚は鍵付きにしてほしい。 ・窓際に棚があると棚の上で作業するのもにも便利。 ・保健室に洗濯機があると使用済の膝掛けを洗濯・乾燥できるのでとても良い。殺菌により、コロナ対策にもなる。 ・相談室とつながっていて、かつ別の入口も配置してほしい。 ・収納式ベッドは広く使えていい。 ・シャワー、トイレは必須 ・外線に接続した電話。
ほしいものは	<ul style="list-style-type: none"> ・足洗い場が部屋の中にあるといい。泥を流せるもの。 ・体育館と近い方が良い。 ・直接外につながる戸は、段差がない方が良い。
なくてもよいもの	<ul style="list-style-type: none"> ・明和中では、洗濯機とシンクの間に手洗い場のようなものがあるが、設置するなら、より深くて、汚れ物を洗える大きさが欲しい。

- ・室内にトイレ、汚物流し便器自動洗浄器、シャワールームを設置してほしい。
- ・乾燥機付き洗濯機を設置してほしい。
- ・校庭側出入り口付近に足洗い場（シャワーホース付き）を設置してほしい。
- ・出入り口は2カ所ほしい。
- ・緊急車両が乗り付けられる位置に配置してほしい。
- ・相談室への出入りが、人目につかずに入退室できるようにしてほしい。
- ・エレベーター近くに配置してほしい。
- ・保健室の近くに検診時使用可能な部屋（大きめの会議室のイメージ）があると便利である。
- ・検診器具をまとめて収納できるスペース（扉付き）がほしい。
- ・休養スペースを設置してほしい。ベッドは収納式が良い。
- ・作り付けの棚（地震等に備え・十分な収納スペース）がほしい。
- ・掃除用具入れは出っ張らない埋め込みタイプが良い。
- ・壁面の掲示は磁石がつくのが良い。
- ・流しは、お湯が出るようにしてほしい。
- ・IH又はコンロがほしい。
- ・シャワー室がほしい。
- ・シャワー室とは別に、外へ出る扉の近くに足洗い場（外で怪我をした児童が汚れを落とせる洗い場）がほしい。水が周りに飛び散らない深い枠のものが良い。
- ・洗面台に目を洗える洗眼水栓を設置してほしい。
- ・車椅子対応多目的トイレがほしい。
- ・スロップシンク（大きな深いシンク）がほしい。大量の水を貯めながら洗えるので、汚れたものを洗うときなどがあると便利です。
- ・保健室内で、健診器具の消毒、洗濯ができるようにしたい。
- ・700人規模の消毒などができるような器具・スペースが欲しい。

- これだけ大規模な学校であれば保健室の利用は増えると思う。教室で学ぶことが難しい子どもたちが保健室に来ることもよくあるので、そのことを考慮して広さ決定してほしい。保健室で勉強できる仕組みに対応できるのか心配である。
- 感染症の疑いのある児童が休む部屋がほしい。保健室内ではなく、隣接した部屋（ベッド等も設置）で保護者が迎えに来るまで休ませるため。

<職員室>

- 職員数が増えた際に机を配置しづらくなならないよう、将来を考えて広めが良い。
- 教職員の働き方も大切。明和中は狭く、ソーシャルディスタンスも難しい状態に見える。今の時代に合うようにしてほしい。
- 書類を格納する棚や、消耗品の保管スペースに十分な広さが欲しい。
- 児童数が多いので、紙類の量も多くなると考えられる。紙類や文具類のストックを入れておいたり、簿冊を保管したりする部屋があると良い。色画用紙を入れておく棚が備え付けられていると便利である。
- 印刷室、放送室、給湯コーナーを隣接して整備してほしい。
- 職員室の印刷室は、消耗品などの置き場になることから、広いスペースが必要。
- 職員が教材作りのできる作業スペースがあるとよい。印刷室を広めにすれば、プリント作り（印刷）とも兼ねられる。
- 放送室だけでなく、緊急時にすぐ使える放送設備がほしい。

<職員更衣休憩室>

- 職員室の近くにしてほしい。
- 先生が必要時に休息を出来るようにしてほしい。

<支援員室>

- 「学習支援員が十分に入り円滑に事務作業ができるよう」とあるが、学習支援員が事務作業をする場面がそんなにあるのか。事務用スペースとしてよりも、支援員間での情報交換や教材作成ができる共用ワークデスクがあればよいのではないか。できれば、畳スペースを用意して、休憩したり、体調不良の際に体を横にできたりすると使い勝手が良いと考える。
- 個人ロッカー（鍵付き）を設置していただきたい。
- 学習支援員の人数が10人強となっていますが、各学年に2名配置で12名強を想定して部屋を考えていただくとありがたい。
- 支援員の人数は、根拠となる数字でしっかりと理論づけて記載してほしい。

<教材室>

- 国語・算数・社会に関わる備品を十分に収納できるスペースを確保していただきたい。
- 広くなくてもよいので、学年又は学年部毎に1室ずつあった方が、学年の教材などを置くことができるので便利だと思う。
- 教科毎に整備するのではなく、低中高別で学年の教室の近くにあった方が便利。
- 教材室は学年別にあるのが望ましい。ただ、異学年でどちらも使用する教材があるので教材はその分の数が必要。また、時間割の関係で同時に使用するもの（例：立体模型）は、クラス数分は必要。

<会議室>

- ・学年部会の会議場所や相談室としての機能などを考慮して、大・中・小に分けて最低1つずつは欲しい。
- ・カウンセリング、保護者との懇談等にも使用できるため、大・中・小の異なる広さのものがあるとよい。

<相談室>

- ・普通教室及び保健室の近くにもあったほうが良い。また、校舎内の様々な場所で子どもたちが速やかに出入室できるよう、いろんな場所にあると良い。
- ・「前室」とあるが、何のために配置するのか、どのような使い方ができるか疑問である。これらについては現場の声を聞いてほしい。

<昇降口>

- ・700人もの児童が一度に昇降口を使うのは窮屈ではないか。学年部別の昇降口があった方がよい。

<階段>

- ・階段には、両側に手すりがほしい。
- ・手すりが片方では支援児童が困るケースがあるため、両側にあった方がいい。

<トイレ>

- ・「男女別のトイレとともに『バリアフリートイレ』を適切な数整備します」とあるが、設置する全てのトイレを「バリアフリートイレ」としていただきたい。
- ・子どものロコモティブシンドローム予防・解消のため、洋式だけでなく、和式も設置してほしい。もちろんこども園のトイレも。
- ・自動洗浄は便利だが、掃除がしにくい。
- ・乾式トイレは、児童にも職員にも掃除がしにくく大変困ったことがある。トイレメーカーのwebサイトを見ると乾式トイレの方が湿式トイレよりも菌が繁殖しにくく衛生的と書かれているが、「床に水をまけないのでこびりついた尿を取ることができない」、「全自動水洗なので掃除中に勝手に水が流れ、流れて欲しいときに流れてくれない」、というような問題があった。乾式トイレを採用するのであれば、掃除のしやすさを考慮していただきたい。
- ・斎宮小では、児童用トイレが2、3階に3箇所あるが、これ以上に必要と思う。便器の数も同様。
- ・明るくて、太陽の光が入るトイレを望む。
- ・排水が良い仕様で、傾斜がきちんとあり、排水溝に水が流れるように設計してほしい。床に水を流さないタイプなら別。
- ・トイレの便器、流しはできるだけ多めにしてほしい。
- ・トイレの説明でバリアフリーが記載されている。トイレだけでなく学校全体（体育館への移動、校舎の出入り等も含む）をバリアフリーで整備していただきたい。

<手洗い場>

- ・「十分な数の手洗い場とあるが」、十分をどう捉えているのか。1学年が十分に使用できるだけの配置が可能なのか。
- ・手洗い場は教室から見えるところに付けてほしい。離れていると、歯みがきなどの指導がしにくい。
- ・手洗い場の数が児童の数に対して少なからぬようにしてほしい。既存の学校では、使用が集中する時間に3階の水が出なくなることもあるので、水道の設備

は重要。オープンスペースでは、水道の場所が限られてくるので、図工や書写といった水を使用する活動で工夫が必要と思う。

<配膳室>

- 配膳室というものがよくわからない。6部屋もいるのか判断できない。

<CS（コミュニティスクール）事務室>

- 地域とのつながりを重視した場合、防犯面が心配である。常時、人を配置してほしい。学校と地域開放のスペースのつながりはどうなるのか、休日でも教室に入れるのか気になる。

<地域交流スペース>

- 「児童の送迎に来た保護者や地域の方、児童、教職員が気軽に交流」とあるが、児童の送迎に来た保護者が校内に入ることを想定しているのか。ニーズはあるのか。
- 飲食を伴う場所をつくることは、衛生面での心配が大きい。現在、体育館は飲食禁止としている。

<給食室>

- 小学校とこども園の給食を同じ施設内で作ることで、どのような課題が起きるのかをしっかりと検討いただきたい。完成してからこれでは作業がやりにくいとならないよう、栄養教諭の意見を聞いてほしい。
- 小学校とこども園ではメニューが異なること、同じであっても食材をカットする大きさが異なること、味付けも異なること、両施設の給食に関するスケジュール（日課、行事予定他）が異なることなどにより、別室での調理でないといけないか。
- 米飯給食を実施することはいいが、斎宮小や明星小での対応はどうなるのか。これら小学校も米飯給食が可能になるよう対応してほしい。
- 安全な環境の視点から、給食のワゴンを運ぶエレベーターはワゴン専用としていただきたい（特にノロウイルスへの対応からも）。
- 給食室には、専用のトイレをつけてほしい。できれば男女別か、男女が不自由なく利用できるよう配慮したものが良い。
- 給食を運ぶエレベーターは、人を運ぶものとは別のエレベーターを設置してほしい。感染症など対応に困ると考える。

<体育館>

- ギャラリーに、階段式はしごではなく普通の階段で上がれるようにしてほしい。
- 肋木を設置するのであれば移動式にしてほしい。
- 椅子などを並べる際、シートを敷く必要のないフロアを希望する。
- 避難場所として使用されることを想定すると、家庭科室が近いと炊き出しがしやすい。防災備蓄庫が備わっていると便利。防災備蓄庫は、校舎内に配置でも可。
- 空調設備があったほうが良い。斎宮小では朝から窓を開放しておいても、熱中症指数が非常に高くなり、屋外でも屋内も体育が実施できない日もある。

<グラウンド>

- 遊具のことについて書かれていないが、きちんと整備していただけるのか心配。
- こども園に「菜園スペースを設け～」とあるが、小学校にも学級園が必要。
- 2校が共用するのは難しいのではないかと。図で見ると仕切りがない。第2期再編小を近くに配置する場合、遊具等を共有するといった2校の子どもが入り乱れるようなことはないようお願いしたい。
- 敷地内の樹木はできるだけ手入れのいらぬものがよい。
- 花壇、畑の近くには、水やりのための水道がほしい。
- 運動場の水はけが悪いと、行事に支障がでたり傷みやすくなったりする。

<地域開放対象について>

- 音楽室と家庭科室に地域開放の需要があるのか。
- 音楽室や家庭科室、地域交流スペースなどが地域開放対象と書かれているが、子どもたちが普段いる時間帯でも地域開放されるのか。
- 音楽室、家庭科室の開放については、開放となれば夜の利用もあると思う。となると、夜に地域開放を利用する保護者に子どもがついてきて、子どもが自分の教室に入ってしまうというケースが心配である。そこで、“地域開放棟”として、家庭室・音楽室はエリアを分けて、教室は数か所の施錠で分けられたら安心（例：図工室・図書室・音楽室は、地域開放エリアとし、教室エリアは施錠、または、一階フロアは開放して、2階以上は施錠など）。
- これまでとは大きく違う運営形態の部屋なので、管理・セキュリティなど課題は多々あるが、スタートしてからもみんなで手探りしながらよい方向を見つけていくといった優しい気持ちで臨みたい。
- 地域開放は難しい面があると思う。例えば、家庭科室を開放したときに、使用する道具の管理はどうするのかなど、備品の管理が徹底されないのではないかと考えられる。毎年、教員で備品点検を行っているが、管理がきちんとされていないと教師への負担が増えてしまう。かなり細かく考えていかないと、子どもたちの学習に支障が出ると考えられる。
- 学校開放を考えた場合、安全面が最優先課題となる。
- 警備会社との契約や、防犯カメラの設置、教室間のインターホンの設置を希望。

<その他>

- 2階建ての方が管理しやすい。
- 3階建ての方が駐車場を多く取れて良い。
- 床はフローリングの方が掃除をしやすい。
- デザイン重視の建物ではよく雨漏りが起こるので避けるべき。
- プールは「外部の施設を使用する。外部指導を受ける。」ということだが、その方法がいいと思う。
- プール水泳を民間へ委託することの必要性は理解している。学校のプールでは、暑すぎてプール授業ができないなどでやりくりが大変だが、小さい子が水に触れることのメリットは大きい。理想としては町が屋内プールを持っておくこと。もし委託するのであれば、他の小学校を含め、町の子どもたちが平等にプール授業を受けられるようにしていただきたい。
- プールを整備しない理由は何か。民間施設を利用する場合、バスでの移動、着替え、水泳、着替え、移動となり、これでほぼ半日かかる。授業時数を考えた場合、どれだけの授業ができるか。他の教科にも影響が出る。
- プールは学校にあるべきものとして整備を望む。

- プールが計画にないようだがどのように考えているのか。近年の校舎では屋上に配置されていることが多い。管理面で良さと子どもたちも使いやすい利点がある。
- スイミングスクールなどの活用は難しいのではないか。往復に時間をとられる。
- プールについては、「廃校となる施設の利用」という構想があるようだが、同じ敷地内でも管理が大変なプールを離れたところでどう管理するのか。職員にさせるならかなりの過重労働となる。また、シーズン前の掃除は誰がするのか。今は子どもたちが掃除しているが離れたところでは子どもにはさせられない。町職員が管理・清掃を行うか、または業者委託か。どちらも負担が大きい。
- プールはどこに配置されるのか。校舎建築等とあわせて考えていくべきでは。
- 校務員がゴミの分別などを行える作業スペース・倉庫が欲しい。
- 防犯面が心配。悪い人も中には居るかもしれない。
- 校舎に関して、伊勢市のみなと小学校、桜浜中学校などを見学してきた。新しい小学校では多目的ホールが無いようだ。多目的ホールは、集会（エアコンがついているため熱中症対策になる）や会議（広さがあるため）、地震発生時の一時集合場所として活用できるので検討してはどうか。
- 職員玄関は、裏口といった感じではなく、タイムカードを置いたり、電灯の一括消灯ができたりなど、出入口だけではない意味合いを持たせて欲しい。

【イ 放課後児童クラブ】

<保育室>

- 「普通教室として転用も検討」とあるが、将来的に児童数が増加した場合、放課後児童クラブの児童数も増加する可能性があり、学校の教室を放課後児童クラブの保育室として転用しなければいけないようなことになるかもしれない。今の段階で転用を考える必要はない。また、転用は簡単ではない（下御糸小の低学年の教室の間にある壁は、大部屋を2つに分ける間仕切りの壁のため黒板にチョークで書く音が隣の教室に響くといった問題がある。転用の際に壁で仕切る方法も簡単にはいかないことがある）。
- スペース分けは、生活、学習、遊び、食事であると認識しているが、記載されている「生活スペース」「遊びスペース」はどのように区分されているのか。
- 児童や保護者との対応時にも支障なく保育活動ができるように、保育室2室を4人のスタッフで保育活動ができるような配置としてほしい。

<スタッフルーム等>

- スタッフルームは無くても良いので、静養スペースとキッチンスペースを別で設置してほしい。その中で、静養スペースとキッチンスペースは、保育室2室に対し1箇所整備し（例：保育室の間）、また、キッチンスペースにはおやつなどを保管しておく冷凍庫や冷蔵庫が複数置けるようなスペースがほしい。
- 手洗い場は、できればキッチンスペースや静養室に配置することで、児童が手洗いをして、すぐにおやつ等を食べられるようにしてほしい。

【ウ 認定こども園】

<保育室>

- 保育室は、2歳児クラスくらいまでは、子どもが落ち着いた環境で過ごせるように、少人数にわけられるようにしてもらえるとよいと思う。
- 保育室が全年齢1つずつの計画だが、2クラスに分けるなど少人数ずつとした方が、子どもがストレスなく落ち着いた生活が送れるのではないか。
- 1歳児は12名の部屋を2つ作ってほしい。
- 各年齢に保育室が1つであるが足りるのか心配。
- 園及び1クラスの収容人数が多い計画であるため、保育室、遊戯室は、目的や状況にあわせて、可動式の壁やパーテーションで広さを変えられるようにしてはどうか。
- 園児数150人程度であるのに、部屋数が各年齢1となっている。広いスペースに多人数ではなく、部屋数を増やして少人数のほうが、子どもたちも落ち着いて過ごせると思う。
- 「基準面積より大きくする」とあるが、広いだけでは子どもは育たない。幼保の教育は大切であり、きちんと複数に区切れる環境づくりをお願いしたい。
- 「こども園」にするため、各クラスの定員数が多くなることが予想される。一人一人の子どもにあわせた対応が大事で、また、配慮が必要な子どもも多くなっている。子どもの気持ちを落ち着かせることができる部屋や、保育者の人数の変動などに柔軟な対応ができる環境を整えて頂きたい。
- 構想内容に意見はない。実際に受け入れる園児数は想定定員までにしてほしい。

<遊戯室>

- 遊戯室に備え付けのプロジェクターとスクリーンがほしい。

<多目的室>

- プレイルーム（多目的室）を2部屋ほどほしい。（相談室は必要なのか。1つでも良いのでは。）

<その他>

- 未満児クラス（0～2歳児）の給食については、離乳食やその日の子どもの体調によって給食のことを相談したい。給食室は別棟なのか。相談しやすい環境を整えて頂きたい。
- 給食室は施設中に作ってほしい。
- 給食室が園舎外にあるので、調理師とのコンタクトがとりづらくなってしまわないか。特に、0歳児は離乳食の進め方や、その日のメニュー等でその都度確認したことも多い。
- 図では、園舎と給食棟が離れすぎている。細かな連携が必要であり、園の近くにほしい。
- こども園のプールはあるか。夏は暑さをしのぐためにタープを張っているが危険で大変。設計段階からタープの設置を考慮してほしい。
- 子どもが安全に、健やかに育ち合えるこども園になるよう、お願いしたい。

4. その他の項目

【各施設の配置】

- ・校舎内に放課後児童クラブの部屋が配置される可能性もあるようだが、安全面を考慮すると、敷地内に別棟の方が良いのではないか。
- ・こども園を小学校に併設させる計画が気になる。学校放送等が昼寝や園児の活動に影響しないか。そのことで、学校の活動が制限されないよう配慮できるか。
- ・小学校と認定こども園、学童の建物は、それぞれ切り離していただきたい。
- ・学童が校舎内に配置される計画だが、学童が活動する午後に、音等が授業の妨げになることはないのか。防音対策をしてほしい。
- ・校舎と学童クラブは、入口は別にするか、または校舎を分けて配置すべき。

【スクールバス乗降場・駐車場】

- ・スクールバスが敷地内に入出入りするため、バス乗降時の安全や、徒歩通学の子どもの安全などの面で動線分離などをしてほしい。
- ・駐車場及びスクールバス乗降場は子どもが通らないところに配置するのが良い。スクールバスが運行するような校区であることを踏まえると、車での送迎が多くなることが考えられる。
- ・イメージ図の場合、バス乗降場が校舎から離れすぎている。プロムナードを作るぐらいならバス専用レーンを整備し、かつハンディキャップのある児童への対応などの面で雨をしのげる位置で乗降できるようにしてほしい(参考:大紀町大宮小)。
- ・遠方からの登下校となるため、有事の際(例:大雨時)の保護者の送迎は、車の利用が想定される。車の利用は、小学校、こども園、学童を合わせると、職員だけでも約100人と想定される。その中で、送迎用の駐停車スペースはどう確保するのか。3階建ての配置イメージ(最大120台)であっても十分とは言えない。何らかの手立てが必要と思われる。
- ・多くの人が集まる場所なので、駐車場が広いほうが良いと思う。よって、2階建てよりも3階建ての案の方がよい。
- ・災害時の引き渡しのこととも考えて、車の動線を考えておく必要がある。

【スクールバスの運行】

- ・各既存の学校が、スクールバスを使った登下校について、具体的なイメージを持っておくことが大切だと思う。
- ・スクールバスについては、各小学校の跡地に停留所を置き、そこまで子どもたちが歩いて通うのが良い。なお、下御糸地区、大淀地区の場合は、学校まで遠い地区は当該地区での停留所を作るべき。

(バスルートの例)

1. 下御糸小学校
⇒ 中村、南藤原、内座、養川、ルミエール中村、グローリア
2. 川尻・北藤原津波避難タワー
⇒ 川尻、北藤原
3. 濱田・八木戸津波避難タワー
⇒ 濱田、八木戸、根倉
4. 志貴墓地近辺
⇒ 志貴、田屋

- 大淀小、下御糸小校区の子どもたちは全員がスクールバスを使うと聞いている。令和8年度だけのことか、その後も含めてのことかわからない。スクールバスの対象児童の3kmという範囲の意味があまり感じられない。学校から遠いのに徒歩通学をし、近いのにバス通学になる子どもが出てくる可能性がある。引き続き検討していくべき。
- 先日の説明会でも話題になったが、バス停が旧学校となると、自宅から学校まで約40分かかる子どもが出てくる。徒歩中の人数把握も重要になる。これらについて、各校が十分に把握し、対応を考えなければいけない。
- 低学年が、3kmの道のりを、荷物を持ちながら、炎天下を歩いたり、雨の中、傘を差しながら歩いたりするのは、厳しいと思う。バス通学は通学距離にして2km以上にさせていただき、1～2km範囲の人数が少ない地区に関しては、バスが周って利用可能にすることで防犯に努めてほしい。
- 停留所は字ごとに設置するのが望ましいが、予算、バスの台数、運転手、時間等の関係で難しいかもしれない。例えば、人数の少ない字は、数地区をまとめた停留所も考えられる。乗降時の児童の安全確保や、人数把握等の面で運転手と別に補助員の配置を検討してほしい。先日、発生した保育所での事故は、まさに盲点をつく事故だった。
- バス停車所は郵便局や病院、スーパー、コンビニなど、人の居る所に設けて目が届くようにすべき。
- 帰りは周回で良いので、30分～1時間毎に学童クラブの運営時間が終わるまで運行してほしい。
- スクールバスは園児も利用可にしてほしい。4、5歳であれば兄弟や知り合い同士で乗ることができ、バス乗車の練習にもなると思う。
- リフトバスを導入してほしい。
- 校区再編による配慮事項としてスクールバスが触れられている。学校教育活動に活用するため、バスの配置（常駐）を希望する。

【配置イメージ図】

- 3階建配置イメージ図については、2階の理科室と3階の図書室を入れ替えてほしい。理科室を使用するのは高学年だが、図工室を使用するのは1年を含む全学年であるため。また、2階建配置イメージ図①についても同様の理由から、1階と2階の特別教室を入れ替えてほしい。
- 家庭科室と音楽室は地域へ開放するために1階に、図工室・理科室は2階に配置してほしい。
- 正確な広さはわからないが、図書室が狭い気がする。
- 3階建配置イメージ図、2階建配置イメージ図②の図書室は、室内に図書室専用の階段を設けて2階層にできないか。

【施設に関するその他の配慮事項】

- 台風で役場周辺が冠水したことがある。洪水対策も大切と思う。
- 避難時に混乱しないように設計してほしい。
- 明和町の次世代の子どもたちのための学び舎は学問だけのためではないはず。いろんな体験をいろんな人たちから教えてもらい、障がいのある人も含めて誰もが利用できてコミュニティが生まれる学び舎の整備を希望する。

【備品・設備に関する事項】

＜普通教室＞

- ・タブレット保管庫を各教室内か、または教室前廊下に設置してほしい。
- ・教室のモニターは後ろの児童が見やすいように、大きめがよい。
- ・プロジェクターで、デジタル教科書を黒板に写せるとよい。
- ・学級文庫は各クラスにほしい。
- ・タオルなど、各自の持ち物をかけておくフックが備え付けてあると便利。丈夫で安全なもの。

＜特別支援教室＞

- ・特別支援教室には各机を囲むパーテーションがあるとよい。授業に集中させるため。

＜特別教室＞

- ・特別教室も備品の調達も大変。予算にも関係することだが充足していただきたい。明和中では備品が足りないという話を聞く。

＜保健室＞

- ・保健室にはレイアウトがしやすいよう、机は、厚生中学校にあるようなものを選定してほしい。
- ・健診を円滑にするため健診器具（身長計、体重計、視力検査器具など）は、デジタル式のものを購入してほしい。

＜その他＞

- ・災害時に子どもたちを守れるように空調や備品を整えておくべき。
- ・敷地の周りに柵が欲しい。また、来客者が入ってくるところには、カメラを設置してほしい。また、死角になるところから人が入ってこられないのが望ましい。
- ・子どもたちが学校へ着いた時間、学校を出た時間が分かるチェック連絡システムを整えてほしい。
- ・児童数が多いと連絡も多くなりそうなので、専用の通信方法（例：LINE）の確保や、電話窓口専用人員の配置などの検討をお願いしたい。

【その他（基本構想の記載方法に関する事項）】

- ・「ユニバーサルデザイン」など、難しい言語などに注釈をお願いしたい。

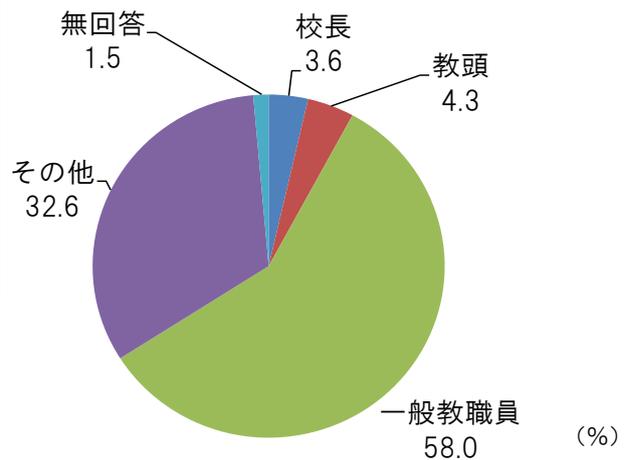
(3) 施設整備に係るアンケート結果

① 小学校区編制に伴う新小学校に関する教職員アンケート調査結果 (令和3年3月実施 対象：町内全小学校の教職員)

< I アンケート回答状況 >

	回答件数	教職員数	回答割合
大淀小学校	15	23	65%
上御系小学校	32	39	82%
下御系小学校	8	27	30%
斎宮小学校	43	51	84%
明星小学校	27	36	75%
修正小学校	13	21	62%
全体	138	197	70%

教職員種別回答状況



< II 現状の小学校施設の課題 (自由記述) >

①安全性

主な意見

- ・老朽化に伴う安全性の危惧。
- ・手摺やスロープ、段差が高い階段、微妙な段差といったバリアフリー問題。
- ・タイル貼りの廊下が滑りやすい(特に雨天時)。
- ・ぶら下がり式蛍光灯の危険性。

②快適性

主な意見

- ・老朽化に伴う快適性の低下。
- ・トイレ環境が悪い(誰でもトイレが少ない、臭う、数が少ない、洋式化を・・・など)。
- ・手洗い場が狭い、数が少ない。
- ・じゅうたん部分の床が不衛生。
- ・窓やドア等の開閉がしにくい。
- ・教室が狭い(収納スペースも少なく、狭い)。

③学習環境

主な意見

- ・教室が狭い。
- ・自由に使える余裕教室(多目的室含む、空き教室)がない。
- ・収納スペースが少ない、狭い。
- ・光が入りにくい所がある。
- ・十分に防音がとれていない部屋がある(可動式の教室など)。
- ・教室の共有による不衛生。
(家庭室と図工室が一緒、家庭科の調理と裁縫で使う部分が一緒・・・など)

④地域との連携

主な意見

- ・地域の方が使えるスペース(地域連携室や会議室など)がない。
- ・バックネットの高さ等、外構の整備が不十分でボール等が近隣へ飛んでいく。
- ・地域の学習に協力していただいたり、校庭等を貸し出したりしている。

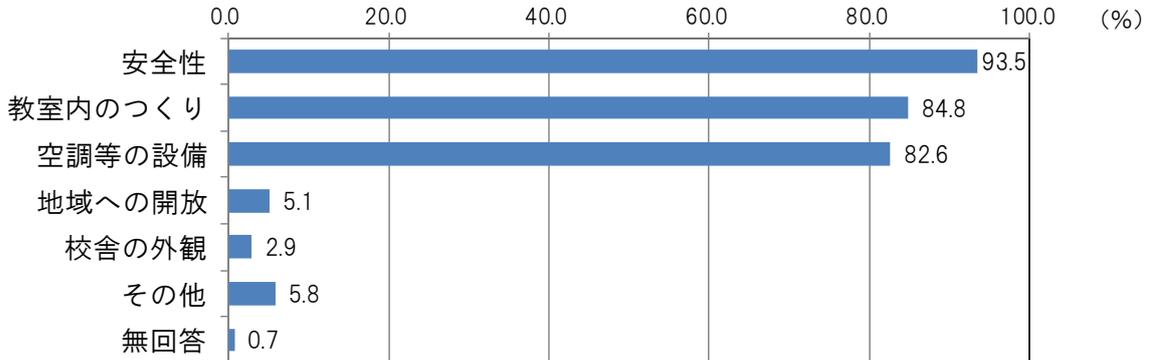
⑤その他

主な意見

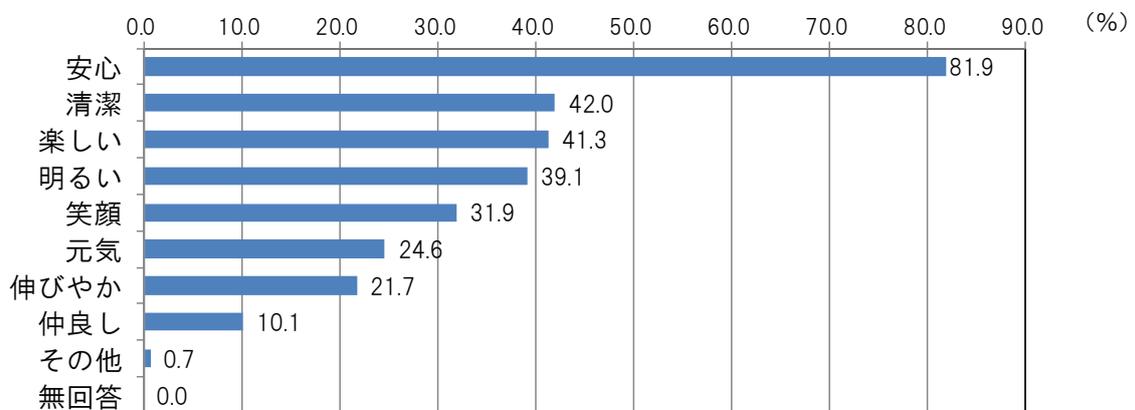
- ・相談室が無い、少ない。
- ・各種設備の修繕や買い替え。
- ・草刈りや樹木の管理が大変。
- ・保護者の送迎時の路上停車が気になる。

<Ⅲ 新しい小学校に望むこと（重視すべきこと）>

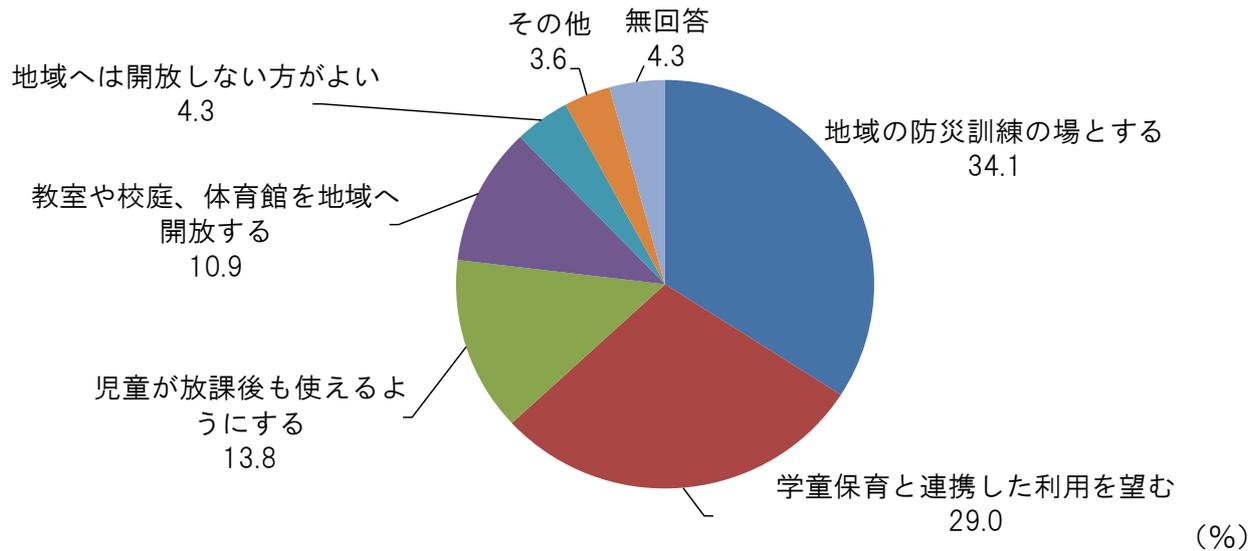
問1 小学校の環境で重要なこと（複数回答・3つまで）



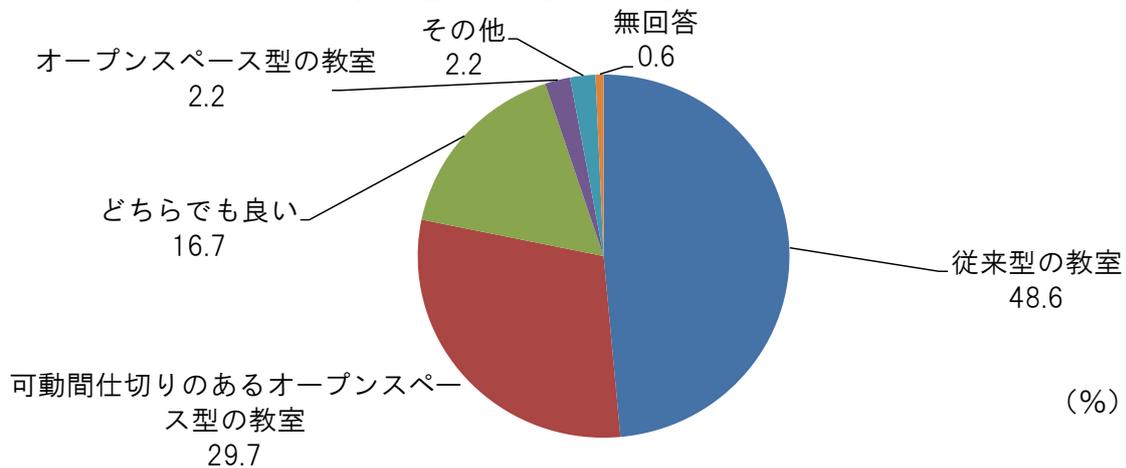
問2 望まれる小学校のイメージ（複数回答・3つまで）



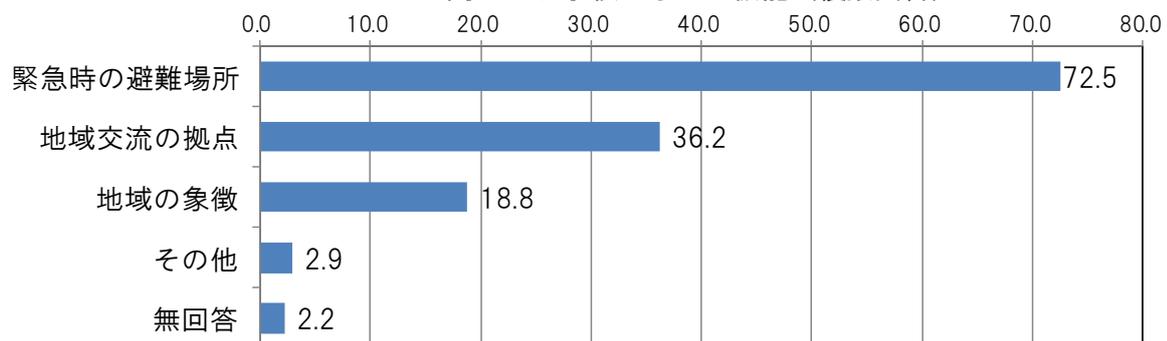
問3 学校の活用方法について何が必要か（1つ回答）



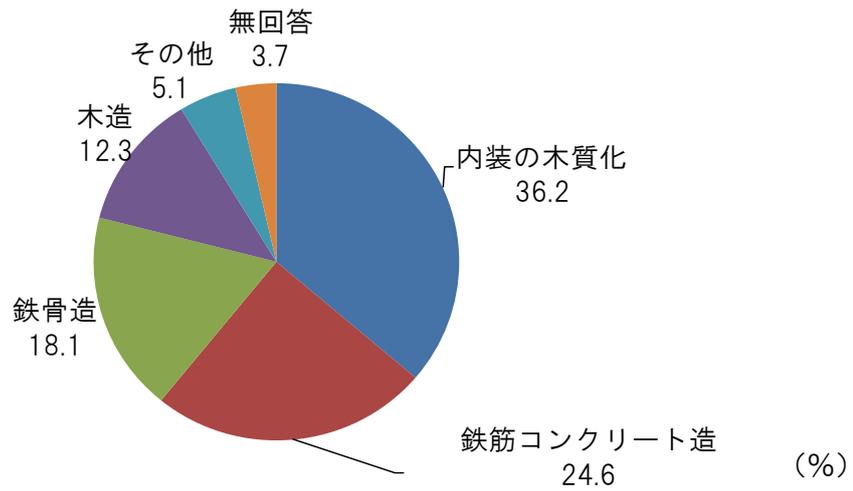
問4 望まれる教室の形態（1つ回答）



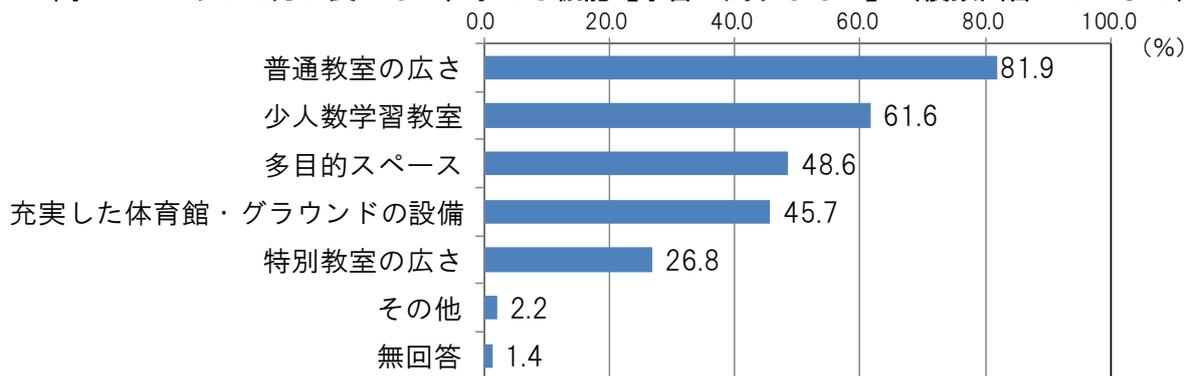
問5 小学校に求める機能（複数回答）



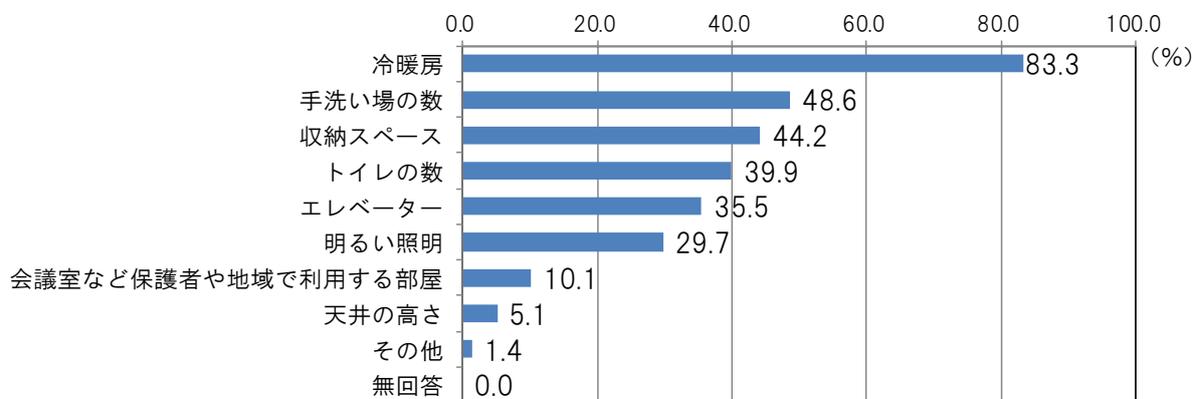
問6 再編小学校の構造（1つ回答）



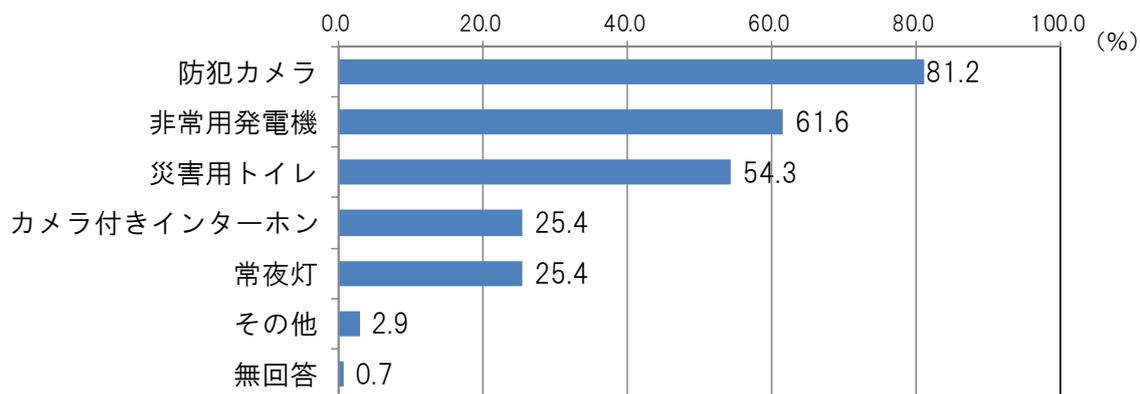
問7-1 あった方が良いもの、求める機能【学習に関するもの】（複数回答・3つまで）



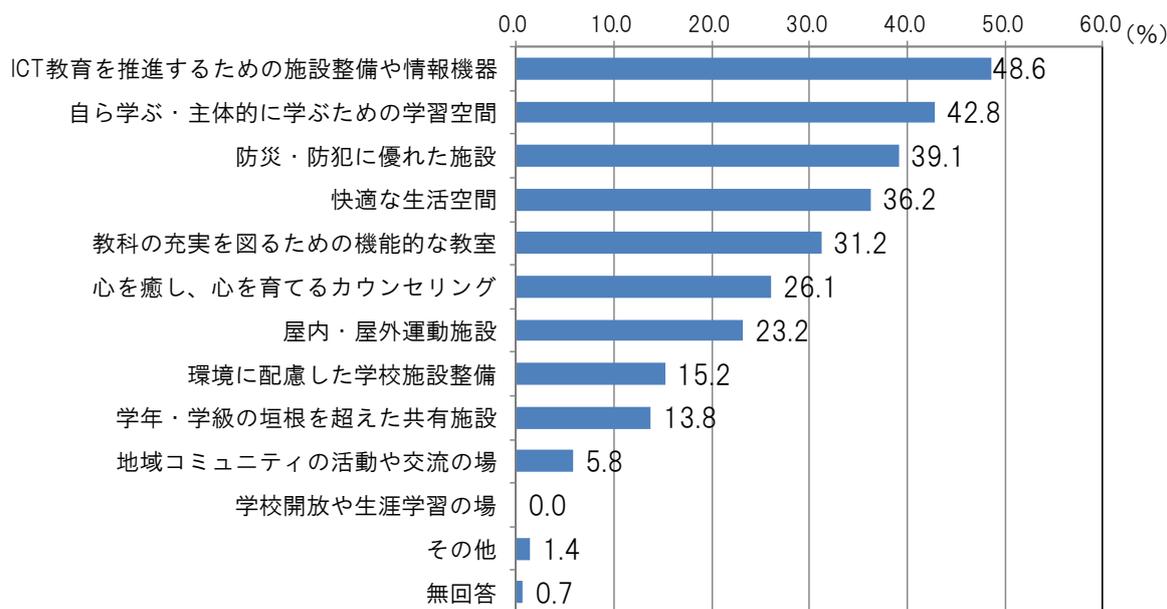
問7-2 あった方が良いもの、求める機能【学校環境・校舎内（施設全体）】（複数回答・3つまで）



問7-3 あった方が良いもの、求める機能【学校環境・校舎内（設備・付属施設）】（複数回答・3つまで）



問8 充実させたいもの（3つまで）



<IV その他、新しい小学校に望むこと（自由記述）>

①安全性

主な意見

- ・送迎車と児童の下校の動線を熟考すべき（送迎もかなり多くなるはず）。
- ・児童が通る所を広く、こげにくく、尖ったカドを無くす。ドアはスライド式。
- ・見まわりしやすいレイアウト、動線化。
- ・落下物や転倒物の少ない工夫、災害に対応した設備を備えるように。
- ・防犯カメラの設置、侵入者が入りにくいような工夫を。

②快適性

主な意見

- ・保健室内にシャワー室がほしい。
- ・支援員室がほしい、支援員室に手洗い場がほしい。
- ・多目的なスペースがほしい。
- ・カーペット敷きはやめてほしい。
- ・エアコン、空気清浄機を設置してほしい、換気もよくしてほしい。
- ・教室にゆとりのあるスペース、広い収納スペース、広い廊下。
- ・明るく開放的、工夫された採光を。

③学習環境

主な意見

- ・クールダウンできる部屋がほしい。
- ・学年単位で活動できる教室もしくはオープンスペースがほしい。
- ・教室を広く、収納スペースも多くほしい。掲示物も教室内や廊下に貼れるように。
- ・外国語専用教室がほしい。
- ・ランチルームがほしい。
- ・全教室にプロジェクターなど、ICTに対応した環境整備をお願いしたい。
- ・特別支援教室を多くしてほしい。

④地域との連携

主な意見

- ・地域の方が使用できる部屋(コミュニティスペース、PTA活動室など)がほしい。
- ・相談室(小さめの部屋)が複数ほしい。
(カウンセリングや地域の方と落ち着いて話ができるように)
- ・地域住民の拠点にはしてほしい。
- ・校区、地域コミュニティの拠点。
(教育活動、様々な方と子どもたちがいつでも触れ合えるように)

⑤新しい学校のコンセプト

主な意見

- ・学校の本質(学びの場であること)を見失わないでいただきたい。
- ・利用する人すべてにとって、明るく楽しい学校にしてほしい。
- ・生涯学習の場にできると地域交流や地域人材の活用ができると思う。
- ・校舎の形状は従来の形ではなく、いろんな機能的なデザインを考えてほしい。

⑥明和町らしさ

主な意見

- ・竹を使った間仕切り。
- ・各教室の札などを御糸織りのタペストリーにしては。
- ・子どもたちが明和町のことを学ぶことから始まり、自分達の町を誇れるようにし、学んだことが発信できる場があれば、「らしさ」は自然と出ると思う。
- ・特産品コーナー(授業と連携)を作る。
- ・給食棟に炊飯器(業務用)を設置し、みいと米を使用したごはんを献立に入れる。
- ・「地域学」の設置。

⑦その他、出た意見など

主な意見

- ・通学用のバスはゆとりをもって用意した方がよい。
- ・教職員の充実を図って欲しい。教科制も取り入れられることから、学級も35人以下。
- ・子どもたちが掃除をやすく長くキレイに使えるようにしてほしい。
- ・メンテナンス等をしやすいような施設にしてほしい。
- ・図書室を充実し、司書さんの配置を常時してほしい。

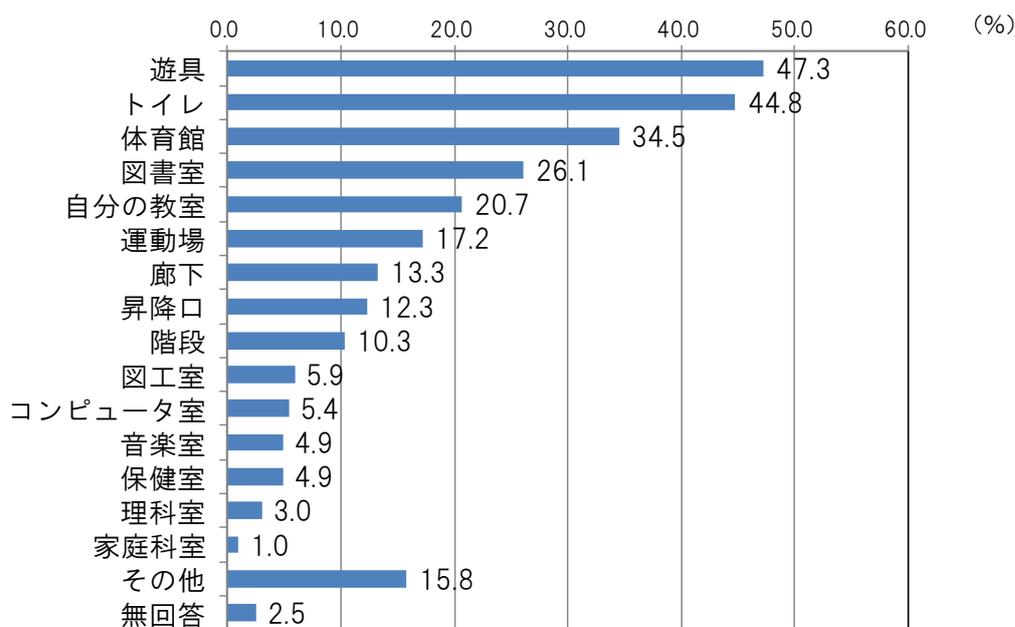
② 小学校区編制に伴う新小学校に関する児童アンケート調査結果
(令和3年6月実施 対象：町内全小学校の6年生)

< I アンケート回答状況 >

	回答件数	児童数	回答割合
大淀小学校	14	15	93%
上御系小学校	41	43	95%
下御系小学校	24	26	92%
斎宮小学校	70	70	100%
明星小学校	43	44	98%
修正小学校	11	11	100%
全体	203	209	97%

< II 今の学校で特に良くしてほしい場所 >

問1 今の学校で特に良くしてほしい場所（複数回答・3つまで）



どのように良くしてほしいか(主な意見)

- ①遊具 … もっと多くしてほしい、ブランコを多くしてほしい、アスレチックのようなものがほしい
- ②トイレ … 綺麗にしてほしい、洋式(ウォシュレット付)を増やしてほしい、自動で流れるようにしてほしい、小便器の間に囲いがほしい
- ③体育館 … エアコンがほしい、広くしてほしい(特に雨の日に遊ぶ時ぎゅうぎゅう詰め)
- ④図書室 … 本の種類を増やしてほしい、高学年が読みたい本(小説など)を増やしてほしい
本を読める場所や自習スペースがほしい(教室では集中できない)。
- ⑤自分の教室 … 広くしてほしい(ロッカー共)、黒板を上下に動くようにしてほしい、黒板の下にタオルが置けるようにしてほしい
- ⑥運動場 … 広くしてほしい、水はけを良くしてほしい、バスケットコート(ゴール)がほしい、砂なのにたまに大きい石があり危ない、冷水器がほしい、影のベンチがほしい

- ⑦廊下 …… 広くしてほしい、ベンチ等で話せる場所がほしい、障がいを持つ人など誰もが通れるようにしてほしい(手摺やスロープなど)
- ⑧昇降口 …… 広くしてほしい(混みやすい)、長靴や上靴を入れられる広いロッカーにしてほしい、
- ⑨階段 …… 幅を広くしてほしい(災害時にも安全に)、エスカレーターにしてほしい、バリアフリーに配慮してほしい(両側に手摺、端に坂を付ける)
- ⑩図工室 …… 机を綺麗に(穴を無くす等)、色んな道具を置いてほしい、家庭室と分けてほしい
- ⑪コンピューター室 …… 自由に使えるようにしてほしい、iPadがあるのでいい
- ⑫音楽室 …… 防音性能を強化してほしい、段差を無くしてほしい、楽器を増やしてほしい
- ⑬保健室 …… 広くしてほしい、ベッドを増やしてほしい、男女の先生がいてほしい
- ⑭理科室 …… 机の横の水道が臭いから綺麗にしてほしい、実験道具をもっと置いてほしい、椅子がガタガタならないように
- ⑮家庭科室 …… 棚がもう少しほしい
- ⑯その他 …… プールをもっと広く、室内プールにしてほしい、更衣室を広くしてほしい、ランチルームを設け広い空間で食事できるようにしてほしい、下駄箱に扉がほしい、手洗い場の数を増やし広くして皆が使えるようにしてほしい、屋上に行けるように、ホワイトボードにほしい(チョークは汚れる)

<Ⅲ 新しい学校に「あったらいいな」と思うもの>

問1 「あったらいいな」と思うもの(複数回答・3つまで)



問1その他意見

エスカレーター(足が不自由な子のため)、一人で勉強できる個室、バイク、休み時間に少し楽しめるスペース、ランチルーム、スクールバス、広い廊下、大きいプール、学年によって高さを変えて使いやすい手洗い場、電子黒板、自由と平和、車椅子、冷水機、涼しいベンチ、広くて沢山の木がある図書室、生き物がいる場所、広くてきれいなプールの更衣室、卓球場、廊下にエアコン、スロープや手摺、バレーをできるようにしてほしい、パルクール、ベランダが大きくてたまにピクニックとかできる、木造であたたかみがあってほしい、クラブ用教室、バスケットコート、運動場が芝生、運動場から教室へ一気にいけるリフト、ドア付きロッカー

<Ⅳ 「こんな学校だったらいいな」と思うこと（自由記述）>

- ・お弁当か給食かえらべたらいいなと思います。1ヶ月に1回児童が考えた給食がでる。
- ・スクールバス。シャーペンOK。広場がほしい。階段全部エスカレーター。給食を皆で食べれる。修学旅行をクラスみんながいきたい所をまとめていく。
- ・シャーペンOK。中庭がある。給食バイキング。ろうかベルトコンベア。階段エスカレーター。遊具多い。
- ・食堂
- ・好きな音楽が休み時間にきけるようにしてほしい。食堂で好きなご飯が食べれるように。一人でまったりできる空間がほしい。
- ・楽しい学校だったらいいな。
- ・スクールバス。バイキング(給食)。
- ・教室、トイレ、手洗い場などが綺麗な学校。運動場、ロッカー、体育館などが広い学校。
- ・上靴ではなく中用の靴がいい。
- ・シャーペン。
- ・トイレや手洗い場などが清潔な学校。給食じゃなくお弁当。
- ・清潔でのびのびとした学校。給食もおいしいといいな(今もすごくおいしいけど)！
- ・1限だけ家から好きな物を持ってきてゲームなどをしていい授業があってほしい。
- ・マックがある。
- ・きれいな手洗い場。
- ・給食じゃなくて食堂の学校。
- ・体育館のトイレを洋式にしてほしい。
- ・みんなトイレで洋式ばかり使って並んだりしなきゃいけないから洋式をふやしてほしい。
- ・障がい者の人のために手すりや点字の数を増やす。
- ・きれいな学校。便利な学校。大きい学校。広い学校。休み時間などに楽しめる場所がある学校。
- ・休み時間長く。
- ・休み時間が多い。毎日5限。バス通学。毎日図工1限確定。音楽で好きな曲を歌いたい。理科でカエルの解ぼう。
- ・たくさんの遊具。1人1人の多目的スペース。キレイなトイレ。1人1人がたくさん使えるロッカー。
- ・机を広くしてほしい。屋上にいきたい。上ぐつじゃなくて靴がいい。
- ・食堂がある。机がでかい。きれいな教室。
- ・上ぐつじゃなくていい。
- ・自動トイレ。冬でも冷たくないトイレ。トイレトペーパーをしまう棚があるトイレ。防音の教室やトイレ。
- ・ドアが出入口にあるトイレ。
- ・なるべく虫の出ないきれいな学校にしてほしい。
- ・きれいで広い学校。自転車、バス通学。
- ・おもちゃ、ヨーヨー。持って帰れるタブレット。
- ・きまりや規則があまり厳しくなかったらいいと思う。
- ・たてわり班遊びが2か月に1回くらいある。
- ・学年関係なく遊べるスペース。机を1年ごとに新しくしてほしい。体操服は何色でもいい。上靴でなく靴でもよい。
- ・リモート授業にする。3階建てにする。学校の中に安全な場所をつくる。自転車登校にする。
- ・あまり汚れてなくて、きれいな学校。
- ・もっとタブレットを使った授業をしてほしいです。
- ・スクールバスが欲しい。宿題がない学校。ホワイトボードが欲しい。室内温水プールにほしい。スマホを持っていったいいようにしてほしい。
- ・きれいで便利。
- ・バスで登下校。

- ・壁が綺麗。避難所が高い。2階じゃない学校。カーペット。本がもっとほしい。図工室が綺麗で広い。理科室がすごくきれい。ランチルームがほしい。保健室がもっと広い。多目的トイレがほしい。
- ・室内プールがほしい。スクールバスがほしい。
- ・きれいなプールがいいです。更衣室も作ってほしい。
- ・明るい笑顔で優しい学校。
- ・遊具を増やしてほしい(新しい遊具とか)。プールの更衣室を広くしてほしい。
- ・本を沢山にしてほしい。バスに乗って学校に行きたい。プールを大きく更衣室を綺麗にしてほしい。
- ・遊具だけでなく、学校の中でも遊べるのを用意してほしい。
- ・本を増やしてほしい。
- ・外観を綺麗な学校にしてほしい。室内温水プールにしてほしい。更衣室にエアコンを付けてほしい。
- ・3階建てにしてほしい。授業スピードを早くしてほしい。
- ・シーソーがある学校。黒板じゃなくてホワイトボードの学校。いつでも入れるプールがある学校。
- ・学校やプールを大きくしてほしい。プールの数を増やしてほしい。体育館を広くしてほしい。
- ・図書室のような静かな場所がある学校。
- ・勉強する部屋とご飯を食べる部屋を分けてほしい。
- ・各教室にプロジェクターを付ける。黒板をホワイトボードにしてほしい。
- ・黒板をホワイトボードに変更を。室内温水プール。更衣室にエアコンがほしい。スクールバスがいい。お弁当を持参しない。ランチルームをつけてほしい。プールの更衣室を広くしてほしい。
- ・掃除道具入れを綺麗にしてほしい。床を綺麗にしてほしい。
- ・部活を作ってほしい。
- ・楽しい学校だったらいい。だから、集会などをもっと増やしたり、皆が過ごす中で楽しいなど皆が思ってくれるような学校生活にしてほしい。
- ・エスカレーターが階段の代わりにある。図書室に漫画を置く。プールをもっと広くしてほしい。室内プールがほしい。
- ・部活を作ってほしい(帰宅部あり、ゲーム部あり)。
- ・テレビでYouTubeが見れる図書室に東京リベンジャーズがほしい。
- ・賑やかで楽しい学校。エレベーターやエスカレーターがある。
- ・6限が終わったら、少しだけの間、本や宿題をできる時間がほしいです。本など明るい色の素材を使った雰囲気にしたらいいなと思います。
- ・6限目の後に宿題ができる。体育館で放課後遊べるようにしてほしい。同じ時間で1~6年生が帰れる(1時30分)。
- ・食堂を作ってほしい(バイキングのように好きな食べ物が食べられる。栄養は考えてほしい)。
- ・部活を作る。食堂を作る。
- ・動物を学校で飼ってほしい。部活を作ってほしい。
- ・学校は白でだいたい黒にする。学校ファミマを設置し、1日1回100円で。1~6年同じ部屋。
- ・生徒(友達)が多い学校。
- ・銅像を作ってほしい。きれいな学校。
- ・いじめや差別がない学校。
- ・みんな平等な学校。休み時間がある学校。
- ・ジュースを持ってきてもいい。
- ・暴力などが無い学校。
- ・みんなが楽しめる学校。
- ・楽しい遊具がいっぱいあってエレベーターや広い運動場にして明るい学校。
- ・電動キックボードで行きたい。遊具をアトラクションにしてほしい(できるか)。卓球場を作ってほしい。
- ・プールをもっと広くしてほしい。
- ・給食がバイキングな学校。魚がすんでいる池がある学校。
- ・全学年と交流ができて『笑顔』がずっとあふれている学校。

- ・ケンカがない平和な学校。きれいで広い学校。カンペキな学校。
- ・いじめがない、決まりを守る、明るい、みんなが平等な学校。
- ・休めるところ。
- ・いじめがない。いつも清潔。
- ・超ハイテク学校。宿題なし。テストなし。自由学校。
- ・アニメで勉強を学びたい。いろいろな小説をおいてほしい。
- ・きれいな学校。
- ・屋上が使える。いじめや差別(あおり)がない。
- ・いじめや差別がない学校(そのためには先生たちが1年生から「常にいじめはだめ」と教え続ける)。
- ・好きな時間に帰れる学校。カラオケがある学校。映画がみれる学校。
- ・超広くて宿題は学校ですべて、早く帰れて自由時間があり、先生とも仲よくできる、掃除をしなくてもいいようなぐらいピカピカで、不審者から守られるような、地震や災害を防いでみんなが幸せにできるような学校がいいと思います。
- ・たくさん楽しめて勉強がしやすい学校。
- ・いじめや差別などがなく学校。あいさつがたくさんある学校。みんなが仲良く自分の気持ちをみんなに言える。とにかく楽しくて安心できる学校(いじめなどもなく)。
- ・いじめ、けんかがなく楽しい学校。
- ・みんながいじめや差別がない学校。
- ・アスレチック、パルクール、ブランコ、自動ドア、はしご、水上アスレチック、机を軽く、バスケット(外)。
- ・斎宮小はキーホルダーが1個までだから2個ぐらいはいいと思う。一週間に一回子どもが好きな授業にする(1限だけ)。
- ・運動場以外にも校内に遊ぶスペースがあればうれしい(遊具など)。
- ・教室と教室が近いとなりの教室の声や音がきこえて授業に集中しづらいから教室と教室の間を大きくしてほしい。
- ・きれいな手洗い場、広いろうか。
- ・学校の中、絶対明るい照明の方が勉強しやすいから。外、楽しい遊びだと楽しくなるから新しい遊具を作った方がいい。体育館、広いと遊ぶ広さがでてるし遊びがたくさん遊べるから。
- ・学校に教科書をおいて帰っていい。スマホOK! スクールバス。
- ・全学年使える休けいスペース。
- ・個人スペース。
- ・ロケット登がく。
- ・小人数(友達)で集まって話せる所。
- ・外が綺麗に見える広い窓。好きな花や食べものとかの植物を育てるところ。体育館に冷房設備。LGBTQに理解のある先生。スマホの禁止。
- ・かべの色をかわいくしたりしてほしい。たとえば空のがらとか。どの学年でも集まれる広場(クッションなどがおいてある)。
1人でなにかをできるスペース(部屋は個別)。
- ・スクールバス通学。小中いっかん校。
- ・遊具が多くてきれいな学校(広い)。
- ・食堂を作る。ゲーム、スマホをOKにしたい。スクールバス。宿題をなくす。
- ・自動で流れるようにしてほしい(トイレ)。部活をしてほしい(サッカー、野球、卓球など)。
- ・食堂、自販機。スマホOK。帰る時間を少し早くしてほしい。
- ・家が遠い人がいるからバス通学にしたらいいと思います。私はいつも約45分歩いています。荷物がたくさんある人もいるからランドセル以外も入る大きめのロッカーがあると便利だと思います。
- ・マンガ持ってくるのOK。トイレの床を綺麗に。食堂をおいてほしい。広い廊下。教室を広くしてほしい。
スマホもってくるのOK。スクールバス。
- ・上ぐつが必要ない学校(くつで入れる)。

- ・休み時間ゲームありにしてほしい。休み時間をふやしてほしい。早く帰れるようにしたい。体育館を自由に使いたい。
- ・体操服を動きやすい服にして自由にしてほしい。
- ・みんながきれいな学校にしてみんなが遊んだりすることです。
- ・サンダルをOKにする(学校の中で足があつて上履きを脱ぎたい人もいるからサンダルで涼しくする)。
- ・教室について、もっと通路や後ろを広くしてほしい。壁などをもっとキレイに。床もしてほしい。机をもっと大きくしてほしい。
- ・自動ドア。宿題を少し減らす。音読を1日なしにする。
- ・教室をおしゃれにしてほしい。今どきの教室にしてほしい。プールにスライダーをつけてほしい。
- ・校舎の中に木でできている物がたくさんある学校。登下校がバスの学校。
- ・女子は女子で、男子は男子で話せる所がほしい。
- ・色々なスポーツができるようにしてほしい。
- ・給食は食堂、バイキングにしてほしい。運動場にバスケットゴールをつくってほしい。小学校の外観をきれいにする。グラウンドを芝生にする。いすを回るいすにしてほしい。
- ・寝ころんでリラックスできるスペースがほしい。楽しい遊具(アスレチック)がほしい。水道の蛇口が自動で出る。給食を食べるランチルームがほしい。
- ・大淀みたいに遊具をふやす。屋上に行けるように。給食は仲が良い人と色々な場所で食べることができる。エレベーターを増やす。動物を飼う。自然がほしい。渡り廊下の雨もりをなくしてほしい。
- ・小動物を飼ってほしい。リラックスする場所がほしい。プールにウォータースライダーをつけてほしい。水道の蛇口が自動でできるようにしてほしい。食堂をつくってバイキングにしてほしい。おやつをつくる時間をつくってほしい。教室をもっと広くしてほしい。和室をつくってほしい。体育館を2つ作ってほしい。
- ・広いロッカーがほしい。
- ・水飲み場を作ってほしい。室内に遊具を設置してほしい。
- ・男女別のクラスにしてほしい。
- ・〇〇部なんかしてほしい。
- ・楽しい学校
- ・エレベーターがあり誰でものれる。
- ・自転車登校。
- ・エレベーターがあって、ロッカーが広くて、たくさんのきれいなトイレがあって、清潔な手洗い場もある場所がある学校。
- ・自転車通学。シャープペン使用OK。雨の日でも楽しく遊べるスペース。
- ・廊下から声などが聞こえない教室。
- ・ロイヤルワンみたいな教室だったらいいと思う。
- ・好きな席にすわれる。マンガも持ってきていい。
- ・家からなるべく近い。シャープペンを持ってきてもいい。
- ・自転車登下校をできるようにしてほしい(なぜ歩くのか?)。
- ・黒板を少し大きくする。
- ・帰り自転車OK。
- ・休み時間も体育館を使えるようにしてほしい。チャリ通。
- ・自由通学にしてほしい(団をなくしてほしい)。
- ・屋上に自由に行ける。

③ 小学校区編制に伴う新認定こども園に関する保育士アンケート調査結果
 (令和3年6月実施 対象：町内全公立就学前施設職員)

< I アンケート回答状況 >

回答数 58 件中 44 件 (回答割合 76%)

< II 結果 >

Q1 園舎について(選択式)

Q2 あった方が良い部屋(自由記述)

① どこへ建てるのが良い?	合 計		合 計
小学校と一体	8	不安定な子が落ち着ける部屋	2
児童クラブと一体	5	プレイルーム	23
別棟(単独)	24	プレイコーナー	5
その他	3	預かり・延長保育専用の部屋	4
未記入	4	医務室	17
合 計	44	相談室	16
※その他(送迎しやすい場所 老人ホーム)		多目的室	15
② 何階建てが良い?	合 計	午睡室	4
平屋	40	フリースペース	1
2階	2	収納・教材室	10
その他	0	休憩室	3
未記入	2	0.1歳児トイレ換気の工夫	1
合 計	44	1歳児クラスの間仕切り	2
※その他(子どもに優しい建材・屋上の避難場所活用・平屋、2階問わず保育室等を多くしてほしい・2階は会議室等)		遊戯室等の間仕切り	2
		床暖房	1
		配膳室出入り口の工夫	1
		3歳児クラスの増設	1
		一時保育ルーム	1
		ランチルーム	1
		図書コーナー	4
		職員ロッカー室	
		調理室	1
		除去食の調理室	1

Q3 その他希望(自由記述)

	合 計
収納スペース	1
屋根付きスペース(テラス)	3
インターネット環境	1
砂場の日よけ	3
設置型プール	1
スタート時の玩具の充実	1
クラス数に適した砂場スペース	1
コンセント位置の工夫	1
花壇・土山	1
遊具の配置	1
園庭の年齢別分け	1
遊具配置の工夫	1
トイレの窓の設置	2
医務室専用トイレ・手洗い場	1
クラスごとのトイレ・手洗い場	1
遊戯室近くのトイレ	1
エアコン設置	1
少人数保育ができる部屋数	4
園庭に出やすい工夫	1
動線をよくしてほしい	1
調理員さんによる配膳	1
屋内プールに専門指導者・監視員	1
屋内で運動会が出来る場所	1
ひねるタイプの蛇口	1
自動開閉の洋式トイレ	1